

第 99 期

定時株主総会招集ご通知

開催日時

2025 年 6 月 24 日 (火曜日) 午前 10 時
受付開始時間 午前 9 時 30 分

開催場所

大阪市北区中之島5丁目3番68号 当会社
(リーガロイヤルホテル大阪
ヴィニエツ コレクション 2 階・桐の間)

決議事項

第 1 号議案 剰余金の処分の件
第 2 号議案 取締役 11 名選任の件
第 3 号議案 監査役 1 名選任の件
第 4 号議案 補欠監査役 1 名選任の件

インターネットまたは書面 (郵送)
による議決権行使期限

2025 年 6 月 23 日 (月曜日)
午後 5 時 30 分まで

株主総会のお土産、待合室でのお飲み物等は
ご用意しておりません。



人を、地域を、日本を、世界を、 あたたかい心で満たしていこう。

人や地域や国の魅力と文化を発見し、理解し、思い出を持ち帰る。

人と人との交流は、それぞれの心にあたたかい思い出を残し、それぞれの人生を豊かにし、
やがて、世界を平和にしてくれる。私たちはそう信じています。

この地球の上で、人と人、地域と地域、国と国の交流の起点となり、

そこからゆっくり波紋が広がるように、心に灯ったあたたかさで世界を満たしていきたい。

お客さま、サプライヤーの皆さま、投資家の皆さま、地域の皆さま、

全てのステークホルダーの皆さまと一緒に、私たちはこの志を実現していきたい。

その呼びかけがこのパーパス・ステートメントです。

紡いできたあたたかい思い出、この志を共にする皆さまとの絆、そして、

家族に寄り添うようなあたたかい心くばりこそが、

これまでもこれからも変わらない、未来に向けた私たちの誇りの源です。

目次

第99期定時株主総会招集ご通知	03	事業報告	21
インターネットによる議決権行使のご案内	06	連結計算書類	43
株主総会参考書類	07	計算書類	45
第1号議案 剰余金の処分の件	07	監査報告書	47
第2号議案 取締役11名選任の件	08	中期経営計画	53
第3号議案 監査役1名選任の件	19	安全・安心で持続可能な社会の実現に向けて	57
第4号議案 補欠監査役1名選任の件	20	営業情報のお知らせ	59

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第99期定時株主総会招集ご通知をお届けいたします。

2024年度は中期経営計画2026の初年度として、基盤強化に向けた様々な取り組みを実施してまいりました。ブランドポートフォリオの再編により新規出店計画を推進し、2026年春オープン予定の「リーガロイヤルリゾート沖縄 北谷」に続き、大阪ななば、福岡博多、広島平和大通りの3ホテルの計画を新たに発表しました。また、株式会社芝パークホテルとの資本業務提携により「芝パークホテル」「パークホテル東京」の2ホテルがグループに加わりました。同社の欧米を中心としたインバウンドセールスのノウハウと、当社のリーガメンバーズに代表される国内顧客層という両社の強みを活かし、シナジーを生み出してまいります。また、人的資本の強化のため人事制度改革に着手したほか、AI導入などのDX推進によるバックサイド業務の効率化にも引き続き取り組み、生産性を高めて付加価値の高いサービスに注力できる環境を整えてまいります。

そして、創業90周年を迎えた2025年春、旗艦ホテルである「リーガロイヤルホテル(大阪)」は大規模リニューアルを経て「リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニェット コレクション」としてブランドオープンいたしました。先人から受け継いできたおもてなしをさらに磨き、揺るぎない存在感を発揮していくことが、私共の使命です。これからも、パーパス「人を、地域を、日本を、世界を、あたたかい心で満たしていこう。」のもと、ステークホルダーの皆様とともに成長し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 植田 文一



株 主 各 位

(証券コード 9713)
2025年6月6日
(電子提供措置の開始日2025年5月30日)
大阪市北区中之島5丁目3番68号
株式会社 ロイヤルホテル
代表取締役社長 植 田 文 一

第99期 定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当会社第99期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の招集に際しては電子提供措置をとっており、インターネット上の下記ウェブサイトに電子提供措置事項を掲載しております。

当社ウェブサイト <http://www.royalhotel.jp/stock/index.html>



また、上記のほか、インターネット上の下記ウェブサイトにも掲載しております。

東京証券取引所ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



上記ウェブサイトにアクセスいただき、「銘柄名(会社名)」に「ロイヤルホテル」または「コード」に証券コード(9713)を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択のうえ、ご覧ください。

当日ご出席いただけない場合は、同封の議決権行使書用紙のご郵送またはインターネットにより議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ5頁～6頁の案内に従って、2025年6月23日(月曜日)午後5時30分までに議決権を行使くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1.日 時 2025年6月24日(火曜日)午前10時

受付開始時間 午前9時30分

2.場 所 大阪市北区中之島5丁目3番68号 当会社

(リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツ コレクション 2階・桐の間)

3.会議の目的事項

報告事項 第99期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)事業報告、連結計算書類、計算書類
ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

決議事項 第1号議案 剰余金の処分の件
第2号議案 取締役11名選任の件
第3号議案 監査役1名選任の件
第4号議案 補欠監査役1名選任の件

以 上

◎株主総会資料の電子提供制度が導入されましたが、当社は、株主様の混乱を避けご不便の無いようにといった観点から、書面交付請求の有無に関わらず、一律に従前どおり書面でお送りしております。なお、電子提供措置事項のうち、次の事項につきましては、法令及び当社定款の規定に基づき、株主様へご送付する書面には記載しておりません。

(1)事業報告の「業務の適正を確保するための体制の整備についての決議の内容の概要」及び「業務の適正を確保するための体制の運用状況」

(2)連結計算書類の「連結株主資本等変動計算書」及び「連結注記表」

(3)計算書類の「株主資本等変動計算書」及び「個別注記表」

したがって、株主様へのご送付書面は、監査報告を作成するに際し、監査役及び会計監査人が監査をした対象の一部であります。

◎電子提供措置事項に修正が生じた場合は、当社ウェブサイト及び東京証券取引所ウェブサイト修正内容を掲載させていただきます。

議決権行使についてのご案内



当日ご出席による議決権行使

当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を

会場受付にご提出ください。

また、資源節約のため、本招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。



書面による議決権行使

書面により議決権を行使することができますので、後記の株主総会参考書類をご検討くださいまして、同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示のうえ、

2025年6月23日(月曜日)午後5時30分までに到着

するようご返送ください。なお、議決権行使書面において、議案に賛否の表示が無い場合は、賛成の意思表示をされたものとして取り扱わせていただきます。



インターネットによる議決権行使

インターネットにより議決権を行使することができますので、次頁の【インターネットによる議決権行使のご案内】をご高覧のうえ、画面の案内に従って賛否を

2025年6月23日(月曜日)午後5時30分までにご入力

ください。

- 書面とインターネットにより、二重に議決権を行使された場合は、インターネットによるものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。また、インターネットによって、複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取扱いいたします。
- インターネットに関する費用(接続料金、通信料金等)は、株主様のご負担となります。
- インターネットのご利用環境、ご加入のサービスやご使用の機種によっては、ご利用いただけない場合があります。

インターネットによる議決権行使のご案内

QRコードを読み取る方法 「スマート行使」

議決権行使コード・パスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。

1. 議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取ってください。



2. 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。



「スマート行使」での議決権行使は1回に限り可能です。

議決権行使後に行使内容を変更する場合は、お手数ですが右記の「議決権行使コード・パスワードを入力する方法」により、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」・「パスワード」を入力してログインのうえ、再度議決権行使をお願いいたします。

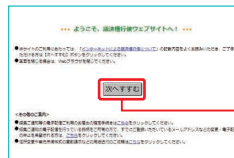
※ QRコードを再度読み取っていただくと、右記の議決権行使ウェブサイトへアクセスできます。

※ QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

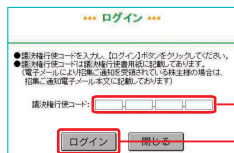
議決権行使コード・パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト | <https://www.web54.net>

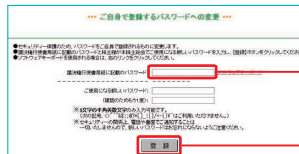
1. 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。



2. 議決権行使書用紙の裏面左下に記載された「議決権行使コード」をご入力ください。



3. 議決権行使書用紙の裏面左下に記載された「パスワード」をご入力ください。



4. 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

0120-652-031

受付時間：午前9時～午後9時

インターネットによる議決権行使に関するご不明な点につきましては、右記にお問い合わせください。

三井住友信託銀行
証券代行ウェブサポート
専用ダイヤル

株主総会参考書類

議案及び参考事項

第1号議案 剰余金の処分の件

当社は株主に対する利益還元を経営の重要課題と考え、安定した利益還元を基本とし、成長投資とのバランスを勘案しつつ、長期にわたり着実に株主の皆様へ報いることを目指しております。当期の期末配当につきましては業績及び上記方針を踏まえ、以下のとおりといたしたいと存じます。なお、A種優先株式に対する配当につきましては、発行時に定めた所定の計算方法により配当を実施いたします。

期末配当に関する事項

(1) 配当財産の種類

金銭

(2) 配当財産の割当に関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき金 5円	総額76,366,280円
-----------------	---------------

当社A種優先株式1株につき金 546.5円	総額68,585,750円
-----------------------	---------------

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2025年6月25日

第2号議案 取締役11名選任の件

本総会終結の時をもって取締役全員(11名)が任期満了となります。つきましては、取締役11名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は次のとおりであります。

候補者 番号	氏名	当社における地位・担当
1	かげやま しゅういち 蔭山 秀一 (再 任)	取締役会長
2	うえだ ふみかず 植田 文一 (再 任)	代表取締役社長 ホテル運営本部担当(兼)ホテル運営本部長
3	おぎた かつのり 荻田 勝紀 (再 任)	代表取締役副社長執行役員 経営企画部・人事部担当(兼)サステナビリティ委員長
4	たぬま なおゆき 田沼 直之 (再 任)	取締役執行役員 関連事業本部・ITシステム部・リーガロイヤルホテル東京・芝パークホテル・パークホテル東京担当(兼)関連事業本部長
5	まつした まさゆき 松下 正幸 (再 任) 社外取締役 独立役員	社外取締役
6	おざき ひろし 尾崎 裕 (再 任) 社外取締役 独立役員	社外取締役
7	しらい あや 白井 文 (再 任) 社外取締役 独立役員	社外取締役
8	おかもと ひろかず 岡本 浩和 (再 任) 社外取締役	社外取締役
9	なかむら としろう 中村 俊郎 (再 任) 社外取締役	社外取締役
10	ふくだ かずし 福田 和師 (新 任)	執行役員 経営企画部長
11	くにべ たけし 國部 毅 (新 任) 社外取締役 独立役員	

候補者番号 1	かげやま しゅういち 蔭山 秀一 1956年7月4日生	所有する当社の株式数 3,700株
 再 任	略歴、地位及び担当 1979年4月 株式会社住友銀行（現・株式会社三井住友銀行）入行 2012年4月 株式会社三井住友銀行取締役（兼）専務執行役員 2014年4月 同行代表取締役（兼）副頭取執行役員 2015年4月 同行取締役副会長 2015年5月 一般社団法人関西経済同友会代表幹事 2017年4月 株式会社三井住友銀行副会長 2017年6月 当社顧問 2017年6月 代表取締役社長 2023年6月 取締役会長（現在に至る） 2025年3月 一般社団法人日本ホテル協会会長（現在に至る） 重要な兼職の状況 一般社団法人日本ホテル協会：会長 エレコム株式会社：社外取締役	
	取締役候補者とした理由 取締役会議長として、取締役会を適切に運営し、代表取締役以下の業務執行を適切に指導監督しております。これらのことから引き続き取締役候補者いたしました。	
候補者番号 2	う えだ ふみかず 植田 文一 1966年8月24日生	所有する当社の株式数 2,500株
 再 任	略歴、地位及び担当 1985年4月 株式会社京都グランドホテル（現・株式会社ロイヤルホテル）入社 2016年4月 執行役員 2017年4月 グループサービス部門（人事チーム）・リーガロイヤルホテル東京担当 2017年6月 取締役執行役員 2019年4月 人事部担当 2021年4月 セールス統括部・ホテル製品事業部・マーケティング部・ITシステム部担当（兼）経営企画部副担当 2022年6月 代表取締役常務執行役員 2023年4月 ホテル運営本部担当（兼）ホテル運営本部長（現在に至る） 2023年6月 代表取締役社長（現在に至る） 重要な兼職の状況 株式会社倉敷国際ホテル：社外取締役	
	取締役候補者とした理由 代表取締役社長として、グループホテル経営を統括しており、経営の意思決定を適切に行っております。これらのことから引き続き取締役候補者いたしました。	

候補者番号 3	お ぎ た かつ の り 荻田 勝紀 1967年3月30日生	所有する当社の株式数 2,500株
 再 任	略歴、地位及び担当 1989年4月 当社入社 2016年4月 執行役員 2016年10月 RRH京都オペレーションズ合同会社出向 リーガロイヤルホテル京都総支配人 2019年6月 当社取締役執行役員 2019年8月 リーガロイヤルホテル(大阪)(現・リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツ コレクション)総支配人 2022年6月 代表取締役常務執行役員 2023年2月 京都事業部・財務部・人事部・リーガロイヤルホテル京都担当(兼)財務内部統制委員長(兼)サステナビリティ委員会副委員長 2023年4月 経営企画部・ITシステム部・人事部担当(兼)サステナビリティ委員長 2023年6月 代表取締役副社長執行役員(現在に至る) 経営企画部・人事部担当(兼)サステナビリティ委員長(現在に至る)	
	取締役候補者とした理由 代表取締役副社長執行役員として、経営企画、人事の担当役員を務めており、適切に業務執行を行っております。これらのことから引き続き取締役候補者といいたしました。	

候補者番号 4	たぬま なおゆき 田沼 直之 1967年12月1日生	所有する当社の株式数 2,000株
 再任	略歴、地位及び担当 1991年4月 当社入社 2017年4月 執行役員 2018年3月 理事 株式会社リーガロイヤルホテル広島出向 リーガロイヤルホテル広島総支配人 2019年4月 当社執行役員 2021年6月 取締役執行役員(現在に至る) 経営企画部・リーガロイヤルホテル広島・リーガロイヤルホテル小倉・リーガプレイス肥後橋・ロイヤルホスピタリティサービス担当(兼)サステナビリティ委員長 2023年6月 関連事業本部・ITシステム部担当(兼)関連事業本部長 2024年4月 関連事業本部・ITシステム部・リーガロイヤルホテル東京・都市センターホテル担当(兼)関連事業本部長 2025年4月 関連事業本部・ITシステム部・リーガロイヤルホテル東京・芝パークホテル・パークホテル東京担当(兼)関連事業本部長(現在に至る)	
	重要な兼職の状況 株式会社リーガロイヤルホテル東京：代表取締役社長 ロイヤルホスピタリティサービス株式会社：代表取締役社長	
	取締役候補者とした理由 取締役執行役員として、関連事業本部の担当役員を務めており、また過去にリーガロイヤルホテル広島の総支配人を務める等、ホテル運営に関する豊富な知識・経験を有しております。これらのことから引き続き取締役候補者いたしました。	

候補者番号 5	まつした まさゆき 松下 正幸 1945年10月16日生	所有する当社の株式数 0株
 再任 社外取締役 独立役員	略歴、地位及び担当 1968年4月 松下電器産業株式会社(現・パナソニックホールディングス株式会社)入社 1996年6月 同社代表取締役副社長 2000年6月 同社代表取締役副会長 2013年6月 当社取締役(現在に至る) 2017年6月 パナソニック株式会社(現・パナソニックホールディングス株式会社)取締役副会長 2019年6月 同社特別顧問(現在に至る) 重要な兼職の状況 パナソニックホールディングス株式会社：特別顧問 株式会社ピーエイチピー研究所：代表取締役会長 松下不動産株式会社：代表取締役社長 公益財団法人松下幸之助記念志財団：理事長 株式会社ニュー・オータニ：社外取締役 株式会社ホテルオークラ：社外取締役 社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要 永年にわたりパナソニック株式会社(現・パナソニックホールディングス株式会社)の経営に携われ、経営の専門家としての豊富な経験・見識を有しておられます。当社の社外取締役としても、その豊富な経験・見識を活かし、当社の経営全般に対して助言・監督することにより、当社の企業価値の向上に貢献することが期待されます。これらのことから引き続き社外取締役候補者といたしました。 同氏の当社社外取締役に就任してからの年数は、本総会終結の時をもって12年となります。	

候補者番号 6	お ざ き ひろし 尾 崎 裕 1950年3月11日生	所有する当社の株式数 0株
 再 任 社外取締役 独立役員	略歴、地位及び担当 1972年5月 大阪瓦斯株式会社入社 2002年6月 同社取締役 2005年6月 同社常務取締役 2008年4月 同社代表取締役社長 2015年4月 同社代表取締役会長 2015年12月 大阪商工会議所会頭 2021年1月 大阪瓦斯株式会社取締役相談役 2021年6月 当社取締役(現在に至る) 2021年6月 大阪瓦斯株式会社相談役(現在に至る) 重要な兼職の状況 大阪瓦斯株式会社：相談役 塩野義製薬株式会社：社外取締役 日本放送協会：経営委員会委員 広島ガス株式会社：社外取締役	
	社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要 永年にわたり大阪瓦斯株式会社の経営に携われ、経営の専門家としての豊富な経験・見識を有しております。当社の社外取締役としても、その豊富な経験・見識を活かし、当社の経営全般に対して助言・監督することにより、当社の企業価値の向上に貢献することが期待されます。これらのことから引き続き社外取締役候補者となりました。 同氏の当社社外取締役に就任してからの年数は、本総会終結の時をもって4年となります。	

候補者番号 7	し ら い あや 白 井 文 1960年5月23日生	所有する当社の株式数 0株
 再 任 社外取締役 独立役員	略歴、地位及び担当 1979年4月 全日本空輸株式会社入社 1993年6月 尼崎市議会議員 2002年12月 尼崎市市長 2017年9月 総務省近畿管区行政評価局行政苦情救済推進会議(現・行政改善推進会議)委員(現在に至る) 2022年6月 当社取締役(現在に至る) 重要な兼職の状況 三洋化成工業株式会社：社外取締役 ブラザー工業株式会社：社外取締役	
	社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要 民間企業、地方議会議員、自治体首長、非営利法人等、官民に亘り多彩な組織を率いた経験を有しております。当社の社外取締役としても、その豊富な経験・見識を活かし、当社の経営全般に対して助言・監督することにより、当社の企業価値の向上に貢献することが期待されます。同氏は、社外役員となること以外の方で会社経営に関与された経験はありませんが、上記の理由から引き続き社外取締役候補者となりました。 同氏の当社社外取締役に就任してからの年数は、本総会終結の時をもって3年となります。	

候補者番号 8	おかもと ひろかず 岡本 浩和 1971年7月16日生	所有する当社の株式数 0株
 再任 社外取締役	略歴、地位及び担当 1995年4月 株式会社日本長期信用銀行（現・株式会社SBI新生銀行）入社 1998年10月 アンダーセン・コンサルティング株式会社（現・アクセンチュア株式会社）入社 2000年2月 株式会社グラックス・アンド・アソシエイツ共同設立 同社取締役 2001年7月 株式会社シンクバンク共同設立 同社取締役 2003年9月 株式会社リサ・パートナーズ取締役 2008年5月 コロンビア大学 ビジネススクール 日本経済経営研究所 客員研究員 2009年6月 株式会社キャタリスト・パートナーズ設立 同社代表取締役（現在に至る） 2010年10月 グリーンオーク・リアルエステート・アドヴァイザーズ株式会社（現・BGOリアルエステート・アドヴァイザーズ株式会社）入社 2010年12月 グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社（現・ベントール・グリーンオーク株式会社）取締役 2011年7月 グリーンオーク・リアルエステート・アドヴァイザーズ株式会社代表取締役（現在に至る） 2013年1月 グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社常務取締役（現在に至る） 2023年6月 当社取締役（現在に至る）	
	重要な兼職の状況 株式会社キャタリスト・パートナーズ：代表取締役 ベントール・グリーンオーク株式会社：常務取締役 BGOリアルエステート・アドヴァイザーズ株式会社：代表取締役	
	社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要 資本業務提携先であるベントール・グリーンオーク株式会社の常務取締役を務めており、金融、コンサルティング、不動産等、多岐に亘る業界で実務経験を有しておられます。当社の社外取締役としても、同社との提携に基づき、当社の競争力強化と成長戦略の実行に貢献することが期待されます。これらのことから引き続き社外取締役候補者いたしました。 同氏の当社社外取締役に就任してからの年数は、本総会終結の時をもって2年となります。	

候補者番号 9	なかむら としろう 中村 俊郎 1982年12月16日生	所有する当社の株式数 0株
	略歴、地位及び担当 2006年4月 メリルリンチ日本証券株式会社(現・BofA証券株式会社)入社 2015年10月 グリーンオーク・インベストメント・マネジメント株式会社(現・ベントール・グリーンオーク株式会社)入社 2019年9月 同社取締役(現在に至る) 2023年6月 当社取締役(現在に至る)	
	重要な兼職の状況 ベントール・グリーンオーク株式会社：取締役	
	社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要 資本業務提携先であるベントール・グリーンオーク株式会社の取締役を務めており、証券金融、投資ファンド等の勤務経験を通じて、多岐に亘る企業に対し収益力強化に向けての施策を主導した経験を有しておられます。当社の社外取締役としても、同社との提携に基づき、当社の競争力強化と成長戦略の実行に貢献することが期待されます。これらのことから引き続き社外取締役候補者といいたしました。	
	同氏の当社社外取締役に就任してからの年数は、本総会終結の時をもって2年となります。	
再任 社外取締役		

候補者番号 10	ふくだ かずし 福田 和師 1967年5月6日生	所有する当社の株式数 0株
 新任	略歴、地位及び担当 1990年4月 株式会社住友銀行(現・株式会社三井住友銀行)入行 1998年10月 当社出向 セールスリーダー(兼)営業戦略企画室長代理 2002年7月 株式会社三井住友銀行 中之島法人営業部 部長代理 2009年7月 同行四国法人営業部 与信グループ長 2015年4月 同行資産監査部(大阪) 上席考査役 2017年4月 当社出向 財務チーム(現・財務部)担当部長 2018年6月 当社転籍 2019年4月 経営企画部 副部長 2021年4月 経営企画部長(現在に至る) 2022年4月 執行役員(現在に至る)	
	取締役候補者とした理由 経営企画部長として当社の経営戦略の策定及び執行に携わっており、適切に遂行しております。また、過去には営業企画、財務の経験もあり、経営管理にかかる豊富な知見を有しております。これらのことから今回新たに取締役候補者といいたしました。	

候補者番号 11	くにべ たけし 國部 毅 1954年3月8日生	所有する当社の株式数 0株
 新任 社外取締役 独立役員	略歴、地位及び担当 1976年4月 株式会社住友銀行(現・株式会社三井住友銀行)入行 2007年6月 株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役 2011年4月 株式会社三井住友銀行頭取(代表取締役)(兼)最高執行役員 2017年4月 株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役社長(代表取締役) 2017年6月 同社取締役執行役社長(代表執行役) 2019年4月 同社取締役会長(現在に至る) 2021年10月 株式会社三井住友銀行取締役会長 2023年4月 同行取締役退任 重要な兼職の状況 株式会社小松製作所：社外取締役 大正製薬ホールディングス株式会社：社外取締役 南海電気鉄道株式会社：社外取締役(監査等委員)	
	社外取締役候補者とした理由及び期待される役割の概要 永年にわたり株式会社三井住友フィナンシャルグループの経営に携わられ、金融・経営の専門家としての豊富な経験・見識を有しておられます。同氏が社外取締役に選任された場合、その豊富な経験・見識を活かし、当社の経営全般に対して助言・監督することにより、当社の企業価値の向上に貢献することが期待されます。これらのことから今回新たに社外取締役候補者といいたしました。	

- (注) 1. 福田和師、國部毅の両氏は、新任取締役候補者であります。
2. 所有する当社の株式はいずれも普通株式であります。
3. 取締役候補者のうち、松下正幸、尾崎裕、白井文、岡本浩和、中村俊郎、國部毅の6氏は、社外取締役候補者であります。なお、松下正幸、尾崎裕、白井文の3氏は、金融商品取引所の定めに基づく独立役員であります。また、國部毅氏は新たに独立役員となる予定です。
4. 取締役候補者岡本浩和及び中村俊郎の両氏は、当社の特定関係事業者（主要取引先）であるベントール・グリーンオーク株式会社の業務執行者であります。同社及び同社グループのBlossoms Holding HK Limitedは当社と資本業務提携契約を締結しており、当社は同社のグループ会社とリーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツ コレクションの運営委託契約を締結しております。また、Blossoms Holding HK Limitedは当社の発行済普通株式の23.7%を保有する大株主であります。なお、当社は同社のグループ会社との間で当社ウェブサイトに掲載の「個別注記表11.関連当事者との取引に関する注記」に記載した取引があります。
5. 取締役候補者國部毅氏は、過去10年間において、当社の特定関係事業者（主要取引先）である株式会社三井住友銀行の業務執行者であったことがあります。
6. 取締役候補者國部毅氏は、2025年6月27日付で株式会社三井住友フィナンシャルグループの取締役会長を退任、及び同日付で同社の特別顧問に就任予定であります。
7. その他の候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
8. 社外取締役候補者が過去5年間に他の株式会社の取締役、執行役または監査役に就任していた場合において、その在任中の当該株式会社における法令または定款に違反する事実その他不当な業務執行が行われた事実等について
- ・ 國部毅氏は株式会社三井住友フィナンシャルグループ（以下、「SMFG」という。）の取締役に就任しておりますほか、株式会社三井住友銀行（以下、「SMBC」という。）の取締役に就任しておりましたが、SMFG及びSMFGの子会社であるSMBC日興証券株式会社（以下、「日興証券」という。）は、日興証券の元役員が金融商品取引法第159条第3項（違法な安定操作取引）に違反した事態に関して、2022年10月に金融庁より金融商品取引法に基づく行政処分を受けました。また、日興証券は、同事態に関して、2023年2月に東京地方裁判所より有罪判決を受け、同判決が確定しております。さらに、2022年10月、日興証券は、日興証券及びSMFGの子会社であるSMBCの役職員の間で非公開情報を授受した事態に関して、金融庁より金融商品取引法に基づく行政処分を受けました。同事態に関して、SMFG及びSMBCは、金融庁より金融商品取引法及び銀行法に基づく報告徴求命令を受けました。同氏は当該事態を認識していませんでしたが、恒常的に、取締役会や各委員会等において、法令遵守、業務の適切性の確保及びリスク管理等の重要性を述べるとともに、それらの徹底につき提言を行っており、事態判明後においても、取締役会や各委員会等での審議等を通じて、実効的な再発防止策の策定及び遂行、SMBCグループのさらなる法令遵守体制及び内部管理体制の強化ならびに健全な企業文化の醸成に向けた取り組み等を推進しております。
9. 社外取締役との責任限定契約について
- 松下正幸、尾崎裕、白井文、岡本浩和、中村俊郎の5氏は、現在、当社の社外取締役であり、当社は5氏との間で責任限定契約を締結しております。その契約内容の概要は、次のとおりであります。
- ・ 社外取締役は、本契約締結後、会社法第423条第1項の責任について、その職務を行うにつき善意でありかつ重大な過失がなかったときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として損害賠償責任を負担するものとする。
- 5氏の再任が承認された場合、当社は5氏との間で当該責任限定契約は引き続き効力を有するものとしております。
- また、新任の社外取締役候補者である國部毅氏の選任が承認された場合、当社は同氏との間で上記内容の責任限定契約を締結する予定であります。
10. 当社は会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、役員としての業務につき損害賠償請求を受けた場合に、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害及び争訟費用を当該保険契約により填補することとしております。当該役員等賠償責任保険契約の被保険者は当社取締役及び当社監査役であり、新任の取締役候補者福田和師氏及び社外取締役候補者國部毅氏は、選任後、被保険者に含まれることとなります。なお、全ての被保険者について、その保険料を特約部分も含めて全額当社が負担しております。また、次回更新時には同内容での更新を予定しております。
11. 略歴、地位及び担当は、2025年5月14日時点で記載しております。

取締役候補者のスキルマトリックス

項 目	期待する知見・スキル						
	社会・経済・経営全般に関する見識	経営戦略	リスク管理	サステナビリティ	ホテル経営		
					オペレーション	マーケティング	経営管理
蔭山 秀一	●	●	●	●			●
植田 文一	●	●	●	●	●	●	●
荻田 勝紀		●	●	●	●	●	●
田沼 直之				●	●	●	●
松下 正幸	●	●	●	●			
尾崎 裕	●	●	●	●			
白井 文	●		●	●			
岡本 浩和		●	●	●			
中村 俊郎		●	●	●			
福田 和師		●	●	●			●
國部 毅	●	●	●	●			

※各候補者に特に期待する知見・スキルであり、各候補者の有する全ての知見・スキルを表すものではありません。

第3号議案 監査役1名選任の件

本総会終結の時をもって、監査役五弓博文氏が任期満了となります。つきましては、監査役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

	にしむら けんじ 西村 賢二 1963年7月11日生	所有する当社の株式数 0株
	略歴及び地位 1987年4月 当社入社 2005年6月 財務部 課長代理 2008年4月 監査室(現・監査部) 課長代理 2010年8月 監査室 室長代理 2011年2月 財務部 部長代理 2016年4月 株式会社リーガロイヤルホテル小倉出向 グループサービスチーム 担当部長 2019年5月 同社総支配人室 次長 2020年7月 当社監査部 次長 2020年12月 監査部長 2025年5月 審議役(現在に至る)	
	監査役候補者とした理由 グループホテルを含め当社の管理部門の豊富な知識・経験を有していることから、当社の監査役に相応しいと判断したため、新たに監査役候補者といたしました。	

新任

- (注) 1. 西村賢二氏は、新任監査役候補者であります。
2. 西村賢二氏と当社との間に特別の利害関係はありません。
3. 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、役員としての業務につき損害賠償請求を受けた場合に、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害及び争訟費用を当該保険契約により填補することとしております。当該役員等賠償責任保険契約の被保険者は当社取締役及び当社監査役であり、西村賢二氏は、選任後、被保険者に含まれることとなります。なお、全ての被保険者について、その保険料を特約部分も含めて全額当社が負担しております。また、次回更新時には同内容での更新を予定しております。
4. 略歴及び地位は、2025年5月14日時点で記載しております。

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、全社外監査役の補欠として、補欠監査役1名の選任をお願いするものであります。なお、補欠監査役の選任につきましては、監査役就任前に限り、監査役会の同意を得て、取締役会の決議により取り消すことができるものといたしたいと存じます。

また、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

補欠監査役候補者は次のとおりであります。

	いんどう ひろし 印藤 弘二 1963年6月1日生	所有する当社の株式数 0株
略歴及び地位	1989年4月 弁護士登録(現在に至る) 昭和法律事務所入所 1994年1月 同事務所パートナー 1998年5月 はばたき綜合法律事務所開設 同事務所パートナー(現在に至る)	
重要な兼職の状況	はばたき綜合法律事務所：パートナー 株式会社キーエンス：社外監査役 日本電気硝子株式会社：社外監査役	
補欠の社外監査役候補者とした理由	過去に会社経営に関与された経験はありませんが、永年にわたり弁護士として業務に従事され、その法律の専門家としての経験・見識を当社の監査に活かしていただけると判断したため、新たに補欠の社外監査役候補者いたしました。	

- (注) 1. 印藤弘二氏は、補欠の社外監査役候補者であります。また、同氏が監査役に就任した場合、金融商品取引所の定めに基づく独立役員となる予定であります。
2. 印藤弘二氏と当社との間に特別の利害関係はありません。
3. 社外監査役との責任限定契約について
印藤弘二氏が社外監査役に就任した場合、当社は同氏との間で責任限定契約を締結する予定であります。
その契約内容の概要は、次のとおりであります。
- ・ 社外監査役は、本契約締結後、会社法第423条第1項の責任について、その職務を行うにつき善意でありかつ重大な過失がなかったときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として損害賠償責任を負担するものとする。
4. 当社は会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、役員としての業務につき損害賠償請求を受けた場合に、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害及び争訟費用を当該保険契約により填補することとしております。当該役員等賠償責任保険契約の被保険者は当社取締役及び当社監査役であり、印藤弘二氏が監査役に就任した場合、被保険者に含まれることとなります。なお、全ての被保険者について、その保険料を特約部分も含めて全額当社が負担しております。
5. 略歴及び地位は、2025年5月14日時点で記載しております。

以上

1. ロイヤルホテルグループの現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善により消費動向が高まり、緩やかな回復傾向にある一方で、不安定な国際情勢や円安による物価上昇、原材料・エネルギー価格の高騰等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、インバウンド需要の増加や法人需要の回復により、消費動向には持ち直しの動きが見られるものの、原材料費・光熱費・人件費をはじめとした各種コストの上昇により、引き続き厳しい事業環境下に置かれております。

こうした環境下、当社グループは2024年5月に、私どもが日頃から最も大切に、また今後も揺るがすことのない価値観、存在意義をパーパス「人を、地域を、日本を、世界を、あたたかい心で満たしていこう。」として明確化し、あわせて、ホテル開業100周年を迎える2035年に目指す姿として「RIHGA VISION 2035」を策定いたしました。

また、2024年から始まる中期3カ年計画を「ブランドの再構築と新たな成長に向けた基盤強靱化の期間」と位置づけ、「中期経営計画2026『ReRISE』」を策定いたしました。中期経営計画では「ホテルブランドカテゴリーの再編成・新規展開」「ホテル事業のバリューアップ」「新規出店パイプラインの拡大」

を基本戦略として掲げ、各種取り組みを推進してまいりました。

「ホテルブランドカテゴリーの再編成・新規展開」につきましては、当社の強みを活かしながら多様化するニーズに応え、将来の開発に幅広く対応できるよう、ホテルのグレードとスタイル別にカテゴリーを再整理するとともに、ブランドのバリエーションを増やしました。また、これまで当社のメインターゲットとして捕捉しきれなかった新規層に積極的にアプローチすることを目的に、トレンド・独自性・新しさを感じる表現を重視し、街の魅力を際立たせた個性あふれるホテルを展開する「Xカテゴリー」を新設いたしました。

「ホテル事業のバリューアップ」につきましては、リーガロイヤルホテル(大阪)が2025年4月1日よりIHGホテルズ&リゾーツのコレクションブランドである「ヴィニエツ コレクション」に加盟し、「リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツ コレクション」としてリニューアルオープンいたしました。当期中においては「ヴィニエツ コレクション」の導入に備え、約1,000室の客室やフロントカウンター、一部のレストランのリニューアル工事を行いました。それに加えて、ロビーや宴会場の一部、外壁のリノベーション工事を順次行ったほか、宿泊部門のユニフォームを一新する等、ブランド価値の向上に取り

組みました。

2024年9月には2025年日本国際博覧会の迎賓館運営業務を受託することを発表いたしました。博覧会開催以降、国内外の賓客との国際交流の場として設置された迎賓館において賓客への接遇・飲食の提供等を行っております。これまでの賓客接遇や数々の国際会議を通じて培ってきた運営力、食へのこだわり、そしてあたたかい心から生まれるおもてなしにより、大阪・関西万博の成功の一助となるよう努めてまいります。

セールス&マーケティング・ブランド発信の強化策として当社会員組織「リーガメンバーズ」を軸に国内顧客基盤の持続的成長に取り組み、「リーガメンバーズ」の会員数は2025年3月に46万人を突破いたしました。2024年12月には今後の新規ホテル展開を踏まえ、海外団体やMICE案件のみならず、多様化し増加傾向にある外国人個人旅行客を中心としたインバウンド全体の受注強化を図るため「インバウンド事業部」を新設いたしました。訪日インバウンドに係わる業務を統括し、インバウンド需要の取り込みに注力しております。

DXを活用した経営及びオペレーション効率の改善策として、当社ではデジタル技術を活用したホテルオペレーションの変革と経営のスピード向上により、ビジネス環境や顧客ニーズの変化にタイムラグ無く対応できる組織づくりと新たな価値創出を図ることをDX戦略として掲げ、その推進に

取り組んでまいりました。今年度においてはAIを有効に活用する新規PMS(宿泊施設管理システム)導入に向けた基盤づくりや多様化する業務・労働環境への対応、社内DX人材の育成等に取り組み、2024年9月には経済産業省の定める「DX認定事業者」に認定されました。

また、人的資本の強化を目的とした人事運営の改革の一環として、全社員を対象としたベースアップを行い、処遇の改善を実施いたしました。ブランドを支えるプロフェッショナル人材育成を目的として、語学研修をはじめとした各種社内研修を充実させました。調理部門の若手社員に対する育成制度も充実させ、調理専門学校卒業生だけではなく普通科高校の卒業生も採用の対象に加えることで採用の幅を拡げ、調理人材の確保と育成に注力いたしました。また、「人」が創るあたたかなおもてなし、快適で心地よい空間をお客様へお届けするためには、スタッフ一人ひとりの心と身体の健康が大切であるとの思いから「ロイヤルホテル健康経営宣言」と「健康経営戦略MAP」に基づき、経営課題の一環として従業員の健康増進とワークライフマネジメントの推進に取り組みました。これらの取り組みが評価され「健康経営優良法人」に5年続けて認定されました。昨年度から運用を開始した社員の自律的成長を支援する公募制度「チャレンジ・キャリア制度」は、今年度においても新設部署や新規出店ホテルの業務に携わるスタッフをグループホ

テルから広く募集し、幅広い人材の活躍機会の創出とキャリア自律の推進に寄与しました。

「新規出店パイプラインの拡大」に関しましては、2026年春開業予定の「リーガロイヤルリゾート沖縄 北谷」、同年春頃開業予定の大阪なんば、同年秋頃開業予定の福岡博多、2027年以降開業予定の広島平和大通りと、4件のホテル開業計画を発表いたしました。それらに加えて5件の出店意向表明を提出し、新規ホテル出店に関して協議中でございます。

2024年11月には株式会社芝パークホテルと資本業務提携契約を締結し、その後同社株式を追加取得したことから同社は当社の連結子会社となりました。これにより「芝パークホテル」「パークホテル東京」の2つのホテルが当社グループに加わりました。資本業務提携を行うことにより、両社のブランドとノウハウを活用したインバウンド集客力の強化や国内顧客向けのセールス力向上、共同購買によるコスト削減と効率化の検討等、さらなる事業展開等のシナジーを見込んでおります。また、ロイヤルホテルから2名の役員派遣とITインフラ整備に

より、スムーズな情報連携体制を構築することにより、経営面・営業面での融和を加速させ、事業・ガバナンス・人事等各セクションでのシナジー創出を推進いたしました。この資本業務提携契約締結を機に2024年5月に公表した「中期経営計画2026」の数値目標を上方修正いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、25,164百万円と前年同期比4,495百万円(21.8%)の増収となりました。これは既存拠点で増収したことに加え、2024年11月29日付で株式会社芝パークホテルの株式を取得し連結子会社化したためであります。

損益面では、連結営業利益912百万円(前年同期比355百万円の増)、連結経常利益796百万円(前年同期比208百万円の増)となりました。特別利益に負ののれん発生益1,137百万円、段階取得に係る差益344百万円を計上したことから親会社株主に帰属する当期純利益は1,737百万円(前年同期比836百万円の増)となりました。

今後も不断の努力により、一層の業績改善を図る所存でございますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

連結業績

売上高

25,164 百万円

経常利益

796 百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

1,737 百万円

事業所別の概要

1 株式会社ロイヤルホテル

ホテル運営受託料等収入の売上高は2,200百万円(前年同期は2,390百万円)となりました。直営ホテルであるリーガグラン京都の売上高は1,348百万円(前年同期は1,300百万円)、リーガプレイス京都四条烏丸の売上高は301百万円(前年同期は217百万円)となりました。ホテル製品事業部は、売上高1,914百万円(前年同期は2,052百万円)となり、外部レストランなどの営業を行っている事業所部門では、売上高750百万円(前年同期は631百万円)となりました。

これらの結果、株式会社ロイヤルホテル全体の売上高は、6,577百万円(前年同期は6,630百万円)となりました。

2 株式会社リーガロイヤルホテル東京

客室部門売上高は1,322百万円(前年同期は1,236百万円)、宴会部門売上高は1,398百万円(前年同期は1,272百万円)、食堂部門売上高は917百万円(前年同期は880百万円)、全体の売上高は3,929百万円(前年同期は3,656百万円)となりました。

3 株式会社リーガロイヤルホテル広島

客室部門売上高は2,559百万円(前年同期は2,328百万円)、宴会部門売上高は2,286百万円(前年同期は1,941百万円)、食堂部門売上高は1,421百万円(前年同期は1,226百万円)、全体の売上高は6,610百万円(前年同期は5,808百万円)となりました。

4 株式会社リーガロイヤルホテル小倉

客室部門売上高は1,513百万円(前年同期は1,303百万円)、宴会部門売上高は1,639百万円(前年同期は1,475百万円)、食堂部門売上高は773百万円(前年同期は754百万円)となり、全体の売上高は4,066百万円(前年同期は3,678百万円)となりました。

5 その他

都市センターホテルを運営する株式会社東京ロイヤルホテルの売上高は96百万円(前年同期は33百万円)となりました。

また、株式会社リーガプレイス肥後橋の売上高は990百万円(前年同期は821百万円)となりました。

2024年11月29日付で、株式会社芝パークホテルの株式を取得し、連結子会社となった同社の売上高は2,842百万円(2024年10月～2025年3月)となりました。

(2) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(3) 設備投資の状況

当連結会計年度中に実施いたしました設備投資額は765百万円となりました。

主なものは次のとおりであります。

① 株式会社ロイヤルホテル他	パソコンリース	202百万円
② 株式会社芝パークホテル	汐留客室改装工事	77百万円
③ 株式会社リーガロイヤルホテル広島	客室浴室改装工事	40百万円
④ 株式会社リーガロイヤルホテル東京	客室便器取替工事	33百万円
⑤ 株式会社芝パークホテル	宿泊システム入替工事	25百万円

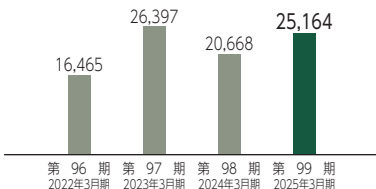
(4) 財産及び損益の状況の推移

① ロイヤルホテルグループの財産及び損益の状況

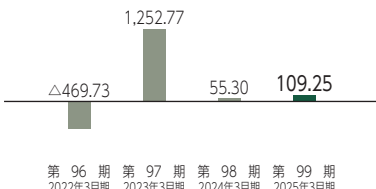
区 分	第 96 期 2022年3月期	第 97 期 2023年3月期	第 98 期 2024年3月期	第 99 期(当期) 2025年3月期
売 上 高 (百万円)	16,465	26,397	20,668	25,164
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	△4,550	△2,129	587	796
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△4,811	13,315	901	1,737
1株当たりの当期純利益又は 1株当たりの当期純損失(△) (円)	△469.73	1,252.77	55.30	109.25
総 資 産 (百万円)	59,920	32,105	31,568	38,361
純 資 産 (百万円)	16,088	18,942	19,877	23,035

- (注) 1. 第96期において、特別利益として投資有価証券売却益15百万円、特別損失として固定資産除却損169百万円、減損損失90百万円等を計上しております。
2. 第97期において、特別利益として固定資産売却益15,576百万円、また特別損失として固定資産除却損84百万円、減損損失31百万円等を計上しております。
3. 第98期において、特別利益として投資有価証券売却益104百万円、また特別損失として減損損失93百万円、固定資産除却損43百万円等を計上しております。
4. 第99期において、特別利益として負ののれん発生益1,137百万円、段階取得に係る差益344百万円、また特別損失として減損損失197百万円、固定資産除却損22百万円を計上しております。
5. 1株当たりの当期純利益又は1株当たりの当期純損失(△)は、期中平均発行済株式数(自己株式数を控除したもの)により計算しております。

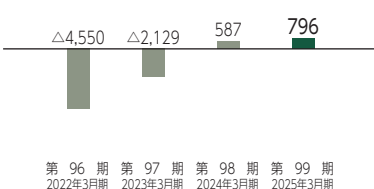
売上高 (単位:百万円)



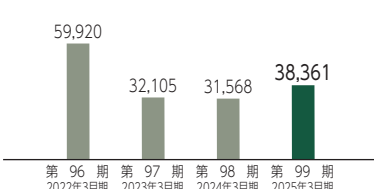
1株当たりの当期純利益又は
1株当たりの当期純損失(△) (単位:円)



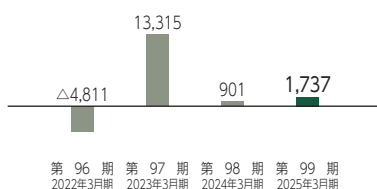
経常利益又は経常損失(△) (単位:百万円)



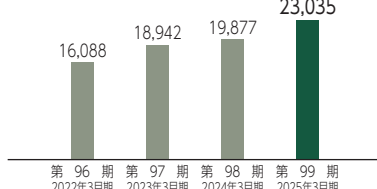
総資産 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益又は
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (単位:百万円)



純資産 (単位:百万円)

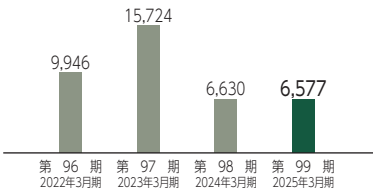


② 当社の財産及び損益の状況

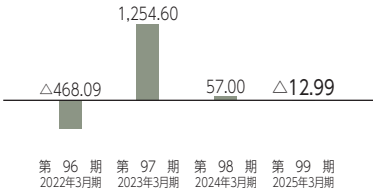
区 分	第 96 期 2022年3月期	第 97 期 2023年3月期	第 98 期 2024年3月期	第 99 期(当期) 2025年3月期
売 上 高 (百万円)	9,946	15,724	6,630	6,577
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△) (百万円)	△1,936	△369	859	263
当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 (△) (百万円)	△ 4,794	13,335	926	△129
1 株当たりの当期純利益又は 1 株当たりの当期純損失 (△) (円)	△ 468.09	1,254.60	57.00	△12.99
総 資 産 (百万円)	54,943	27,097	26,218	24,947
純 資 産 (百万円)	16,119	18,969	19,848	19,585

- (注) 1. 第96期において、特別利益として投資有価証券売却益15百万円、特別損失として貸倒引当金繰入額2,691百万円、固定資産除却損165百万円等を計上しております。
2. 第97期において、特別利益として固定資産売却益15,576百万円、また特別損失として貸倒引当金繰入額1,445百万円、固定資産除却損82百万円等を計上しております。
3. 第98期において、特別利益として投資有価証券売却益104百万円、また特別損失として貸倒引当金繰入額64百万円、固定資産除却損40百万円等を計上しております。
4. 第99期において、特別利益として貸倒引当金戻入額299百万円、また特別損失として貸倒引当金繰入額554百万円等を計上しております。
5. 1株当たりの当期純利益又は1株当たりの当期純損失(△)は、期中平均発行済株式数(自己株式数を控除したもの)により計算しております。

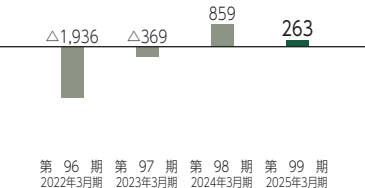
売上高 (単位:百万円)



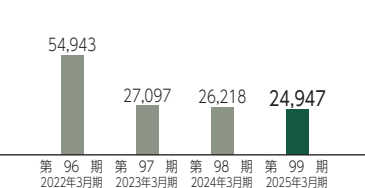
1株当たりの当期純利益又は
1株当たりの当期純損失 (△) (単位:円)



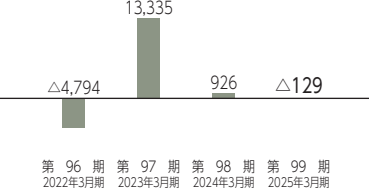
経常利益又は経常損失 (△) (単位:百万円)



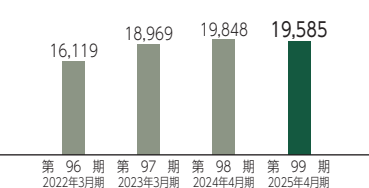
総資産 (単位:百万円)



当期純利益又は当期純損失 (△) (単位:百万円)



純資産 (単位:百万円)



(5) 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善による社会経済活動の活発化や2025年日本国際博覧会開催等により国内外からの需要が増加する一方で、国際情勢の不安定や円安による物価上昇、原材料・エネルギー価格の高騰等、依然として不透明な状況が続くものと見込まれます。

ホテル業界におきましても、訪日外国人客数が増加する等の明るい兆しが見えるものの、原材料費・光熱費・人件費の増加による収益の悪化が引き続き懸念されるうえ、新規ホテルの開業による競合環境の激化も予想されます。

こうした環境認識を踏まえ、当社グループは「中期経営計画2026『ReRISE』」に掲げる「ホテルブランドカテゴリの再編成・新規展開」「ホテル事業のバリューアップ」「新規出店パイプラインの拡大」を基本戦略として、「RIHGA VISION 2035『安心のサービスと感動のおもてなしで世界中のお客様の期待を超える世界最高峰のホテルグループ』」の実現に向けて、取り組んでまいります。

① ホテルブランドカテゴリの再編成・新規展開

当社の強みを活かしながら、将来の開発に幅広く対応できるよう、当社が設定するホテルカテゴリをグレード別・スタイル別で整理し直すとともにバリエーションを増やすことにより、多様化するニーズにも対応可能なブランドカテゴリに再編いたしました。新たに展開する「Xカテゴリ」では、トレンド・独自性・新しさを感じる表現を重視し、これまで当社のメインターゲットとしては捕捉しきれていなかった新規層に積極的にアプローチしてまいります。バリエーションを増やすことにより、ドミナント展開においても個々の差別化を図ってまいります。

② ホテル事業のバリューアップ

既存ホテルについては、各グループホテルへの積極的な改装投資を踏まえ、客室単価を含む各種単価の適正化を実施するほか、非効率部門でのアウトソーシング活用やホテル内遊休スペースの有効活用により収益力の強化を図ってまいります。

セールス&マーケティング・ブランド発信の強化策として、BtoB市場では、当社が強みとするMICEを柱とした営業強化や送客基盤強化を行います。また、BtoC市場では、当社会員組織「リーガメンバーズ」を軸に国内顧客基盤の持続的成長を目指すとともに、自社サイト及びSNSを通じたデジタルコミュニケーションを強化してまいります。

DXを活用した経営及びオペレーション効率の改善策としては、マネジメント・オペレーション・人事関連を中心にDXを推進することにより、経営判断のスピードアップと経営効率の改善を図り、事業環境の変化にタイムリーに対応できる会社組織にレベルアップさせるとともに、最適な人材配置を進めることで売上・利益の拡大を目指してまいります。

人的資本強化のため、現行人事制度を見直し、「ブランドを支えるプロフェッショナル人材を育成すること」「幅広い人材が活躍する機会を創出しイノベーションを推進する組織文化を醸成すること」「人事の透明性を担保し、成長実感の充足とパフォーマンスの向上を図ること」を企図し、「キャリア自律の推進」「年功的な賃金制度の是正」「多様な働き方の実現」を目指した人事制度改革を推進してまいります。

また、2024年11月に資本業務提携契約を締結し、その後同社株式を追加取得し連結子会社化した株式会社芝パークホテルとのさらなるシナジー創出に取り組んでまいります。具体的には、従来手薄であった欧州を中心に複数の海外展示会への共同出展等を計画しており、さらなるインバウンド需要の取り込みを図るほか、当社の法人顧客基盤に対して芝パークホテルでの宴会需要を取り込むべく協業すること等です。

③ 新規出店パイプラインの拡大

ベントール・グリーンオーク株式会社と締結しているパイプライン契約(同社のアセット投資について優先的にオペレータ契約を検討できる契約)を活用しながら、同社以外からの案件招聘も拡大させ、案件によってはインオーガニックな成長を視野に入れた他社とのアライアンスも検討していく等により、さらなる成長に繋がります。長年培ってきた「リーガロイヤル」ブランドとノウハウを活用しながら、出店候補地に最適なブランドカテゴリー・契約形態を選定し、国内を重点対象として宿泊主体型のホテルを中心に拠点数増加による着実な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(6) 主要な事業内容 (2025年3月31日現在)

- ① 宿泊施設の経営
- ② 食堂・宴会場の経営
- ③ スポーツ施設の運営
- ④ 食料品の販売

(7) 主要な事業所 (2025年3月31日現在)

事業所名	所在地
リーガグラン京都	京都市南区東九条西山王町1番地
リーガプレイス京都 四条烏丸	京都市下京区室町通高辻上る山王町551番地
リーガロイヤルホテル東京	東京都新宿区戸塚町1丁目104番地19
リーガロイヤルホテル広島	広島市中区基町6番78号
リーガロイヤルホテル小倉	北九州市小倉北区浅野2丁目14番2号
リーガプレイス肥後橋	大阪市西区江戸堀1丁目13番10号
芝パークホテル	東京都港区芝公園1丁目5番10号
パークホテル東京	東京都港区東新橋1丁目7番1号

(8) 使用人の状況 (2025年3月31日現在)

① ロイヤルホテルグループの使用人の状況

使用人数 (名)	前期末比増減 (名)
1,985 (302)	259 (37)

② 当社の使用人の状況

使用人数 (名)	前期末比増減 (名)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年)
1,096 (80)	64 (6)	41.8	16.9

(注) 1. ①、②とも使用人数は就業人員であり、臨時使用人数は()内に年間の平均人員を外数で記載しております。
2. ①の使用人数の増加は、株式会社芝パークホテルの株式を追加取得し、当社の連結子会社となったことによるものであります。

(9) 重要な親会社及び子会社の状況 (2025年3月31日現在)

① 重要な親会社の状況
該当事項はありません。

② 重要な子会社の状況

会 社 名	資本金(百万円)	出資比率(%)	主 要 な 事 業 内 容
株式会社リーガロイヤルホテル東京	10	100.0	ホテル業
株式会社リーガロイヤルホテル広島	6	75.3	ホテル業
株式会社リーガロイヤルホテル小倉	6	77.1	ホテル業
株式会社東京ロイヤルホテル	49	100.0 (27.3)	ホテル業
ロイヤルホスピタリティサービス株式会社	10	100.0	ホテル附帯事業
株式会社リーガプレイス肥後橋	10	100.0	ホテル業
株式会社芝パークホテル	220	79.1	ホテル業

(注) 1. 出資比率の()は内書で間接保有の出資比率であります。
2. 2024年11月29日付で株式会社芝パークホテルの株式を追加取得し、当社の連結子会社となりました。

(10) 主要な借入先及び借入額

該当事項はありません。

(11) その他当社グループの現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

2.株式に関する事項 (2025年3月31日現在)

(1) 発行可能株式総数

普通株式 20,000,000株
A種優先株式 300,000株

(2) 発行済株式の総数

普通株式 15,303,369株 (自己株式30,113株を含む)
A種優先株式 125,500株

(3) 株主数

普通株式 14,739名
A種優先株式 1名

(4) 大株主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数 (千株)	持 株 比 率 (%)
Blossoms Holding HK Limited	普通株式 3,631	23.6
ア サ ヒ ビ ー ル 株 式 会 社	普通株式 1,961	12.7
森 ト ラ ス ト 株 式 会 社	普通株式 1,953	12.7
サントリーホールディングス株式会社	普通株式 1,026	6.7
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	普通株式 292 A種優先株式 125 合計 417	2.7
関 電 不 動 産 開 発 株 式 会 社	普通株式 410	2.7
大 阪 瓦 斯 株 式 会 社	普通株式 292	1.9
株 式 会 社 竹 中 工 務 店	普通株式 276	1.8
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	普通株式 161	1.0
三井住友ファイナンス＆リース株式会社	普通株式 133	0.9

(注) 1. 持株比率は自己株式を除く発行済株式の総数に対する持株数の割合であります。

2. A種優先株式は、無議決権株式であります。

(5) 当事業年度中に職務執行の対価として会社役員に交付した株式の状況

該当事項はありません。

(6) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

3.新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4.会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役（2025年3月31日現在）

地 位	氏 名	担 当	重 要 な 兼 職 の 状 況
取 締 役 会 長	蔭 山 秀 一		エレコム株式会社:社外取締役 一般社団法人日本ホテル協会:会長
※ 取 締 役 社 長	植 田 文 一	ホテル運営本部担当(兼)ホテル運営本部長	株式会社倉敷国際ホテル:社外取締役
※ 取 締 役 副 社 長 執 行 役 員	荻 田 勝 紀	経営企画部・人事部担当(兼)サステナビリティ委員長	
取 締 役 常 務 執 行 役 員	浅 沼 吉 正	財務部・総務部・監査部担当(兼)経営企画部副担当 (兼)コンプライアンス委員長(兼)リスク管理委員長 (兼)財務内部統制委員長(兼)食品安全衛生委員長 (兼)サステナビリティ委員会副委員長	
取 締 役 執 行 役 員	田 沼 直 之	関連事業本部・ITシステム部・リーガロイヤルホテル 東京・都市センターホテル担当(兼)関連事業本部長	株式会社リーガロイヤルホテル東京:代表取締役社長 株式会社東京ロイヤルホテル:代表取締役社長 ロイヤルホスピタリティサービス株式会社:代表取締役社長
取 締 役	松 下 正 幸		パナソニックホールディングス株式会社:特別顧問 (その他の兼職の状況は後記「社外役員の重要な兼職の状況等」に記載のとおりであります。)
取 締 役	奥 正 之		(兼職の状況は後記「社外役員の重要な兼職の状況等」に記載のとおりであります。)
取 締 役	尾 崎 裕		大阪瓦斯株式会社:相談役(その他の兼職の状況は後記「社外役員の重要な兼職の状況等」に記載のとおりであります。)
取 締 役	白 井 文		(兼職の状況は後記「社外役員の重要な兼職の状況等」に記載のとおりであります。)
取 締 役	岡 本 浩 和		ベントール・グリーンオーク株式会社:常務取締役 (その他の兼職の状況は後記「社外役員の重要な兼職の状況等」に記載のとおりであります。)
取 締 役	中 村 俊 郎		ベントール・グリーンオーク株式会社:取締役
常 勤 監 査 役	五 弓 博 文		
常 勤 監 査 役	北 垣 真 紀		
監 査 役	黒 田 淳		
監 査 役	松 本 浩		松本浩公認会計士事務所:所長(その他の兼職の状況は後記「社外役員の重要な兼職の状況等」に記載のとおりであります。)

(注) 1. ※は代表取締役であります。

- 取締役松下正幸、奥正之、尾崎裕、白井文、岡本浩和及び中村俊郎の6氏は社外取締役であります。なお、松下正幸、奥正之、尾崎裕及び白井文の4氏は、金融商品取引所の定めに基づく独立役員であります。
- 取締役会長蔭山秀一氏は、2025年3月21日付で株式会社倉敷国際ホテルの社外取締役を退任及び2025年3月28日付で株式会社芝パークホテルの取締役を退任いたしました。
- 取締役社長植田文一氏は、2025年3月27日付で一般社団法人日本ホテル協会の会長に就任いたしました。
- 取締役社長植田文一氏は、2025年3月21日付で株式会社倉敷国際ホテルの社外取締役に就任いたしました。
- 取締役執行役員田沼直之氏は、2024年4月1日付で株式会社リーガロイヤルホテル東京の代表取締役社長に就任及び同日付で株式会社東京ロイヤルホテルの代表取締役社長に就任いたしました。
- 取締役執行役員田沼直之氏は、2025年4月1日付で株式会社東京ロイヤルホテルの代表取締役社長を退任いたしました。
- 監査役黒田淳氏及び松本浩氏は、社外監査役であります。なお、両氏は、金融商品取引所の定めに基づく独立役員であります。
- 監査役黒田淳氏は、金融機関において永年の経験を有し、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
- 監査役松本浩氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。

① 当事業年度中に就任した役員

2024年6月27日付で監査役北川健太郎氏が辞任したため、2022年6月28日開催の第96期定時株主総会において補欠の監査役として選任されていた松本浩氏が同日付で監査役に就任いたしました。

② 当事業年度中の役員の異動

当事業年度中の役員の異動はありません。

③ 当事業年度中に退任した役員

氏 名	退任日	退任時の会社における地位及び重要な兼職の状況
北川 健太郎	2024年6月27日	社外監査役 大阪弁護士会:弁護士 NCホールディングス株式会社:社外取締役(監査等委員)

(注)監査役北川健太郎氏は、辞任による退任であります。

④ 当事業年度の末日後の役員の異動

氏 名	新		旧		異動年月日
	地 位	担 当	地 位	担 当	
浅沼 吉正	取締役 常務執行役員	総務部・監査部担当(兼)経営企画部副担当(兼)コンプライアンス委員長(兼)リスク管理委員長(兼)食品安全衛生委員長	取締役 常務執行役員	財務部・総務部・監査部担当(兼)経営企画部副担当(兼)コンプライアンス委員長(兼)リスク管理委員長(兼)財務内部統制委員長(兼)食品安全衛生委員長(兼)サステナビリティ委員会副委員長	2025年4月1日
田沼 直之	取締役 執行役員	関連事業本部・ITシステム部・リーガロイヤルホテル東京・芝パークホテル・パークホテル東京担当(兼)関連事業本部長	取締役 執行役員	関連事業本部・ITシステム部・リーガロイヤルホテル東京・都市センターホテル担当(兼)関連事業本部長	2025年4月1日

(2) 責任限定契約の内容の概要

当社は、2006年6月29日開催の第80期定時株主総会で定款を変更し、社外取締役及び社外監査役の責任限定契約に関する規定を設けております。当該定款に基づき当社が社外取締役及び社外監査役の全員と締結した責任限定契約の内容の概要は次のとおりであります。

① 社外取締役の責任限定契約

社外取締役は、本契約締結後、会社法第423条第1項の責任について、その職務を行うにつき善意であり、かつ重大な過失がなかったときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として損害賠償責任を負担するものとする。

② 社外監査役の責任限定契約

社外監査役は、本契約締結後、会社法第423条第1項の責任について、その職務を行うにつき善意であり、かつ重大な過失がなかったときは、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として損害賠償責任を負担するものとする。

(3) 補償契約の内容の概要

該当事項はありません。

(4) 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結し、役員としての業務につき損害賠償請求を受けた場合に、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害及び争訟費用を当該保険契約により填補することとしております。但し、被保険者の犯罪行為や被保険者が法令に違反することを認識しながら行った行為に起因する損害は填補されない等、一定の免責事由があります。

当該役員等賠償責任保険契約の被保険者は当社取締役及び当社監査役であり、全ての被保険者について、その保険料を特約部分も含めて全額当社が負担しております。

(5) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等

① 取締役の個人別の報酬等の額の決定方針に関する事項

(i) 当該方針の決定の方法

当該方針を決定するにあたっては、全社外取締役、取締役会長及び代表取締役社長で構成された任意の指名・報酬委員会への諮問を経て、取締役会にて決定しております。

(ii) 当該方針の内容の概要

当社の取締役の報酬は、企業価値の持続的な向上を図るインセンティブとして機能するよう株主利益と連動した報酬体系とし、個々の取締役の報酬の決定に際しては、各職責を踏まえた適正な水準とすることを基本方針とします。具体的には、業務執行取締役の報酬は、固定報酬としての基本報酬と業績連動報酬等により構成し、監督機能を担う社外取締役については、その職務に鑑み、基本報酬のみを支払うこととします。

当社の取締役の基本報酬は、月例の固定報酬とし、役位、職責等に応じて、他社水準、当社の業績、従業員給与との水準を考慮しながら、総合的に勘案して決定するものとします。業績連動報酬等は、事業年度ごとの業績向上に対する意識を高めるため業績指標を反映した現金報酬とし、各事業年度の連結経常利益の目標値に対する達成度合い等に応じて算出された額を賞与として毎年一定の時期に支給します。目標となる業績指標は、中期経営計画と整合するよう設定し、適宜、環境の変化に応じて指名・報酬委員会の答申を踏まえた見直しを行うものとします。また、報酬は金銭によるものとし、非金銭報酬等の支給は行いません。業績連動報酬等の額の決定方法は、以下のとおりです。

【当社の社内取締役の業績連動報酬体系】

$$\text{総ファンド(注)1} \times \frac{\text{当該役員年度基本報酬額}}{\text{在籍社内役員年度基本報酬総計}} \times \text{業績連動報酬掛目(注)2}$$

(注) 1. 総ファンド=在籍対象役員数×2百万円

2. 業績連動報酬掛目=業績連動報酬掛目①+業績連動報酬掛目②+業績連動報酬掛目③

業績連動報酬掛目①

中期経営計画連結経常利益目標達成率	業績連動報酬掛目①
35%以上	達成率(上限は110%とする)
35%未満	0%

業績連動報酬掛目②

担当部門の平均エンゲージメントポイント (年度末月調査対比)	業績連動報酬掛目②
改善5ポイント以上	10%
改善3ポイント以上5ポイント未満	6%
改善0ポイント以上3ポイント未満	3%
前年比マイナス	0%

業績連動報酬掛目③

社長評価加算 (ブランド向上、SDGs推進、コンプライアンス維持に対する貢献:会長、社長は対象外)	業績連動報酬掛目③
優秀(対象役員数の1割以内)	10%
良好(対象役員数の3割以内)	5%
普通	0%

- (iii) 当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等の内容が当該方針に沿うものであると取締役会が判断した理由

取締役の個人別の報酬等の内容の決定にあたっては、指名・報酬委員会が原案について決定方針との整合性を含めた多様な観点から検討を行っているため、取締役会もその審議結果を、適切性を有するものであり、決定方針に沿うものであると判断しております。

- ② 取締役及び監査役の報酬等についての株主総会の決議による定めに関する事項

2006年6月29日開催の第80期定時株主総会において、取締役の金銭報酬の額を20名以内に対し年額400百万円以内(使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない)、監査役の金銭報酬の額を5名以内に対し年額96百万円以内と決議しております。当該定時株主総会終結時点の取締役の員数は15名、監査役の員数は4名であります。

- ③ 取締役の個人別の報酬等の内容の決定に係る委任に関する事項

該当事項はありません。

- ④ 取締役及び監査役の報酬等の総額等

役員区分	報酬等の総額 (百万円)	報酬等の種類別の総額(百万円)			対象となる 役員の員数 (人)
		基本報酬	業績連動報酬等	非金銭報酬等	
取締役	154	137	16		11
(うち社外取締役)	(31)	(31)	(ー)	—	(6)
監査役	28	28			5
(うち社外監査役)	(10)	(10)	—	—	(3)
計	182	165	16		16
(うち社外役員)	(41)	(41)	(ー)	—	(9)

(注) 1. 上記の取締役及び監査役の支給人員には、2024年6月27日付で退任した監査役1名を含んでおります。

2. 上記業績連動報酬は、当事業年度に係る役員賞与引当金繰入額を記載しております。

3. 業績連動報酬の額の算定の基礎として選定した業績指標の内容は連結経常利益等であり、また、当該業績指標を選定した理由は決算における主要な指標であるためであります。業績連動報酬の額の算定に用いた業績指標に関する実績は、「1.ロイヤルホテルグループの現況に関する事項

(4)財産及び損益の状況の推移」に記載のとおりであります。

(6) 社外役員に関する事項

① 社外役員の重要な兼職の状況等(2025年3月31日現在)

区 分	氏 名	兼 職 先 会 社 名	兼 職 の 内 容	関 係
社 外 取 締 役	松 下 正 幸	パナソニックホールディングス株式会社	特別顧問	
		株式会社ピーエイチピー研究所	代表取締役会長	
		松下不動産株式会社	代表取締役社長	
		公益財団法人松下幸之助記念志財団	理事長	
		株式会社ニュー・オータニ	社外取締役	* 1
		株式会社ホテルオークラ	社外取締役	* 2
	奥 正 之 (注1)	レンゴー株式会社	社外取締役	
		株式会社テレビ東京ホールディングス	社外取締役	
		東亜銀行有限公司	非常勤取締役	
	尾 崎 裕 (注2)	大阪瓦斯株式会社	相談役	
		塩野義製薬株式会社	社外取締役	
		日本放送協会	経営委員会委員	
		広島ガス株式会社	社外取締役	
	白 井 文	三洋化成工業株式会社	社外取締役	
		ブラザー工業株式会社	社外取締役	
	岡 本 浩 和	ベントール・グリーンオーク株式会社	常務取締役	* 3
		株式会社キャタリスト・パートナーズ	代表取締役	
		BGOリアルエステート・アドバイザーズ株式会社	代表取締役	
	中 村 俊 郎	ベントール・グリーンオーク株式会社	取締役	* 3
社 外 監 査 役	黒 田 淳			
	松 本 浩	松本浩公認会計士事務所	所長	
		株式会社鶴見製作所	社外取締役(監査等委員)	
		株式会社エスコンアセットマネジメント	社外取締役(監査等委員)	

*1 株式会社ニュー・オータニは、当社と同一の事業目的をもった会社であります。

*2 株式会社ホテルオークラは、当社と同一の事業目的をもった会社であります。

*3 ベントール・グリーンオーク株式会社及び同社グループのBlossoms Holding HK Limitedは、当社と資本業務提携契約を締結しており、当社は、同社のグループ会社とリーガロイヤルホテル(大阪)(現・リーガロイヤルホテル大阪・ヴィニエツト コレクション)の運営委託契約を締結しております。また、Blossoms Holding HK Limitedは当社の発行済普通株式の23.7%を保有する大株主であります。

(注) 1. 奥正之氏は、2025年5月9日付で東亜銀行有限公司の非常勤取締役を退任いたしました。

2. 尾崎裕氏は、2024年6月24日付で広島ガス株式会社の社外取締役に就任いたしました。

② 社外役員の主な活動状況及び社外取締役が果たすことが期待される役割に関して行った職務の概要

区 分	氏 名	主 な 活 動 状 況
社 外 取 締 役	松 下 正 幸	当事業年度に開催された取締役会10回全てに出席し、経営の専門家としての豊富な経験から議案・審議等につき必要に応じて発言を行っております。また、指名・報酬委員会において、人材戦略、役員の報酬体系に関して意見を表明し、議論を活性化することで社外取締役としての役割を果たしております。
	奥 正 之	当事業年度に開催された取締役会10回全てに出席し、金融・経営の専門家としての豊富な経験から議案・審議等につき必要に応じて発言を行っております。また、指名・報酬委員会において、人材戦略、役員の報酬体系に関して意見を表明し、議論を活性化することで社外取締役としての役割を果たしております。
	尾 崎 裕	当事業年度に開催された取締役会10回のうち9回に出席し、経営の専門家としての豊富な経験から議案・審議等につき必要に応じて発言を行っております。また、指名・報酬委員会において、人材戦略、役員の報酬体系に関して意見を表明し、議論を活性化することで社外取締役としての役割を果たしております。
	白 井 文	当事業年度に開催された取締役会10回のうち9回に出席し、官民での豊富な経験から議案・審議等につき必要に応じて発言を行っております。また、指名・報酬委員会において、人材戦略、役員の報酬体系に関して意見を表明し、議論を活性化することで社外取締役としての役割を果たしております。
	岡 本 浩 和	当事業年度に開催された取締役会10回全てに出席し、多岐に亘る業界での経歴と起業経験から議案・審議等につき必要に応じて発言を行っております。また、指名・報酬委員会において、人材戦略、役員の報酬体系に関して意見を表明し、議論を活性化することで社外取締役としての役割を果たしております。
	中 村 俊 郎	当事業年度に開催された取締役会10回全てに出席し、多岐に亘る企業に対し収益力強化に向けての施策を主導した経験から議案・審議等につき必要に応じて発言を行っております。また、指名・報酬委員会において、人材戦略、役員の報酬体系に関して意見を表明し、議論を活性化することで社外取締役としての役割を果たしております。
社 外 監 査 役	北 川 健 太 郎	当事業年度の監査役在任期間中に開催された取締役会3回のうち2回に出席し、また当事業年度の監査役在任期間中に開催された監査役会4回のうち3回に出席しました。主に弁護士としての専門的見地から必要に応じ経営の意思決定の妥当性及び適正性を確保するための発言を行うとともに、監査結果についての意見交換や監査に関する重要事項の協議を行っております。
	黒 田 淳	当事業年度に開催された取締役会10回のうち9回に出席し、また当事業年度に開催された監査役会11回全てに出席しました。金融・経営の専門家としての経験等を踏まえて、必要に応じ経営の意思決定の妥当性及び適正性を確保するための発言を行うとともに、監査結果についての意見交換や監査に関する重要事項の協議を行っております。
	松 本 浩	監査役就任後、当事業年度に開催された取締役会7回全てに出席し、また当事業年度に開催された監査役会7回全てに出席しました。財務・会計の専門家としての経験等を踏まえて、必要に応じ経営の意思決定の妥当性及び適正性を確保するための発言を行うとともに、監査結果についての意見交換や監査に関する重要事項の協議を行っております。

(注) 監査役北川健太郎氏につきましては、2024年6月27日の辞任による退任までの状況を記載しております。

(7) その他会社役員に関する重要な事項

該当事項はありません。

5. 会計監査人に関する事項

(1) 会計監査人の名称

有限責任 あずさ監査法人

(2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| ① 当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額 | 38百万円 |
| ② 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 53百万円 |

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約においては、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬の額を区分しておりません。
2. 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積もりの算定根拠等が適切であるかどうかについて必要な検証を行い、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。

(3) 公認会計士法第2条第1項の業務以外の業務(非監査業務)の内容

当社は、会計監査人に対して、公認会計士法第2条第1項の業務以外の業務(非監査業務)に係る対価として、コンフォートレター作成業務3百万円を計上しております。

(4) 責任限定契約の内容の概要

該当事項はありません。

(5) 補償契約の内容の概要

該当事項はありません。

(6) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める事由に該当する状況にある場合には、監査役会は会計監査人の解任を検討し、解任が妥当と認められる場合には、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。

また、監査役会は、会計監査人の職務状況や当社の監査体制を勘案し、会計監査人の変更が必要と認められる場合には、会計監査人の不再任に関する議案を株主総会に提出いたします。

(注) 本事業報告中、億円単位の記載金額は億円未満、百万円単位の記載金額は百万円未満、株式数は表示単位未満を切り捨てております。

〈MEMO〉

Blank area for notes, consisting of 20 horizontal dashed lines.

連結計算書類

連結貸借対照表 (2025年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(38,361)	(負債の部)	(15,325)
流動資産	15,339	流動負債	4,428
現金及び預金	11,359	買掛金	515
売掛金	2,047	短期借入金	89
原材料及び貯蔵品	370	未払費用	1,727
その他	1,564	契約負債	740
貸倒引当金	△2	賞与引当金	326
固定資産	23,022	役員賞与引当金	49
有形固定資産	8,248	その他	980
建物及び構築物	1,525	固定負債	10,897
土地	5,769	長期借入金	353
その他	953	リース債務	191
無形固定資産	192	長期預り金	2,205
ソフトウェア	184	退職給付に係る負債	5,269
その他	7	役員退職慰労引当金	61
投資その他の資産	14,581	繰延税金負債	1,649
投資有価証券	197	その他	1,166
匿名組合出資金	1,288	(純資産の部)	(23,035)
長期差入保証金	12,694	株主資本	21,477
繰延税金資産	261	資本金	100
その他	162	資本剰余金	10,342
貸倒引当金	△24	利益剰余金	11,097
資産合計	38,361	自己株式	△62
		その他の包括利益累計額	△2
		その他有価証券評価差額金	△4
		退職給付に係る調整累計額	2
		非支配株主持分	1,560
		負債純資産合計	38,361

百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結損益計算書（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額	
売上高		25,164
売上原価		4,088
売上総利益		21,076
販売費及び一般管理費		20,163
営業利益		912
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	
補助金収入	14	
ポイント失効益	13	
違約金収入	7	
その他の収益	26	70
営業外費用		
支払利息	3	
匿名組合投資損失	177	
その他の費用	5	186
経常利益		796
特別利益		
負ののれん発生益	1,137	
段階取得に係る差益	344	1,481
特別損失		
減損損失	197	
固定資産除却損	22	220
税金等調整前当期純利益		2,057
法人税、住民税及び事業税	74	
法人税等調整額	146	221
当期純利益		1,836
非支配株主に帰属する当期純利益		99
親会社株主に帰属する当期純利益		1,737

百万円未満は切り捨てて表示しております。

計算書類

貸借対照表 (2025年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(24,947)	(負債の部)	(5,361)
流動資産	13,724	流動負債	1,235
現金及び預金	7,002	買掛金	144
売掛金	434	リース債務	29
原材料及び貯蔵品	255	未払金	77
前払費用	93	未払費用	310
短期貸付金	4,903	未払法人税等	11
その他	1,036	未払配当金	0
貸倒引当金	△ 2	契約負債	344
固定資産	11,223	預り金	128
有形固定資産	574	賞与引当金	111
建物	88	役員賞与引当金	49
機械装置	18	その他	27
車両運搬具	0	固定負債	4,126
工具、器具及び備品	364	リース債務	88
リース資産	89	長期預り金	614
その他	13	退職給付引当金	3,407
無形固定資産	142	その他	15
電話施設利用権	0	(純資産の部)	(19,585)
ソフトウェア	139	株主資本	19,585
その他	2	資本金	100
投資その他の資産	10,505	資本剰余金	10,342
投資有価証券	84	その他資本剰余金	10,342
匿名組合出資金	1,288	利益剰余金	9,205
関係会社株式	3,184	利益準備金	13
長期貸付金	15,327	その他利益剰余金	9,192
長期差入保証金	387	繰越利益剰余金	9,192
繰延税金資産	92	自己株式	△ 62
その他	59		
貸倒引当金	△ 9,918		
資産合計	24,947	負債純資産合計	24,947

百万円未満は切り捨てて表示しております。

損益計算書（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額	
売上高		6,577
売上原価		1,367
売上総利益		5,209
販売費及び一般管理費		5,127
営業利益		82
営業外収益		
受取利息及び配当金	329	
ポイント失効益	13	
その他の収益	15	359
営業外費用		
匿名組合投資損失	177	
その他の費用	0	177
経常利益		263
特別利益		
貸倒引当金戻入額	299	299
特別損失		
貸倒引当金繰入額	554	
固定資産除却損	0	554
税引前当期純利益		7
法人税、住民税及び事業税	27	
法人税等調整額	110	137
当期純損失（△）		△129

百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書

独立監査人の監査報告書

2025年5月14日

株式会社 ロイヤルホテル
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

大阪事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 山田 徹 雄

公認会計士 雨河 竜 夫

監査意見

当監査法人は、会社法第 444 条第 4 項の規定に基づき、株式会社ロイヤルホテルの 2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社ロイヤルホテル及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適

正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・連結計算書類に対する意見表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手するために、連結計算書類の監査を計画し実施する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

会計監査人の監査報告書

独立監査人の監査報告書

2025年5月14日

株式会社 ロイヤルホテル
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人
大阪事務所
指定有限責任社員
業務執行社員
指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 山田 徹 雄
公認会計士 雨河 竜 夫

監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社ロイヤルホテルの2024年4月1日から2025年3月31日までの第99期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正

に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査役会の監査報告書 謄本

監 査 報 告 書

当監査役会は、2024年4月1日から2025年3月31日までの第99期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、電話回線又はインターネット等を経由した手段も活用しながら、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
 - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
 - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
 - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。なお、監査上の主要な検討事項については、会計監査人と協議を行うとともに、その監査の実施状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）ならびに計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2025年5月14日

株式会社ロイヤルホテル 監査役会

常勤監査役 五 弓 博 文 ㊞

常勤監査役 北 垣 真 紀 ㊞

社外監査役 黒 田 淳 ㊞

社外監査役 松 本 浩 ㊞

以上

■ 中期経営計画 ■

中期経営計画2026「ReRISE」の進捗

2035年に迎えるホテル開業100周年に向け、2024年からの3カ年では、「1.ホテルブランドカテゴリーの再編成・新規展開」「2.ホテル事業のバリューアップ」「3.インオーガニックな成長も視野に入れた新規出店パイプラインの拡大」の3点を戦略の骨子として掲げ、中期経営計画2026「ReRISE」を推進、ブランドの再構築と新たな成長に向けた基盤の強化を図っています。以下、各戦略の取組状況・進捗についてご報告いたします。

戦略1：ホテルブランドカテゴリーの再編成・新規展開

2026年春以降、現時点で4ホテルの新規出店が決定しています。2027年には、グループホテルは国内外合わせて19拠点となる予定です。2026年春頃開業予定の「アンカード・バイ・リーガ 大阪なんば」、2026年秋頃開業予定の「バウンシー・バイ・リーガ 福岡博多」は、新たに展開していく「Xカテゴリー」の初出店ブランドです。これらのブランドでは、価値観が多様化する20～30代のお客様を主なターゲットに、「リーガロイヤルホテルグループ」の強みを発揮したユニークな滞在体験を提供します。

足許では、国内5カ所（北海道、北陸、関東のリゾート地、関西のリゾート地、沖縄）に出店意向表明を提出済です。リゾート地での展開については、新たなリゾートホテルブランドが誕生する予定です。今後の展開にご期待ください。

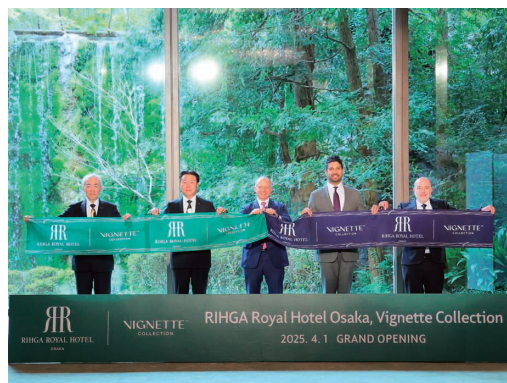


戦略2：ホテル事業のバリューアップ

既存ホテル事業について、資源配分の最適化を通じ、収益力と競争力の向上を実現するとともにブランド価値を持続的に向上させる施策を順次実施しております。

■施策1：フラッグシップホテルのリブランドオープン

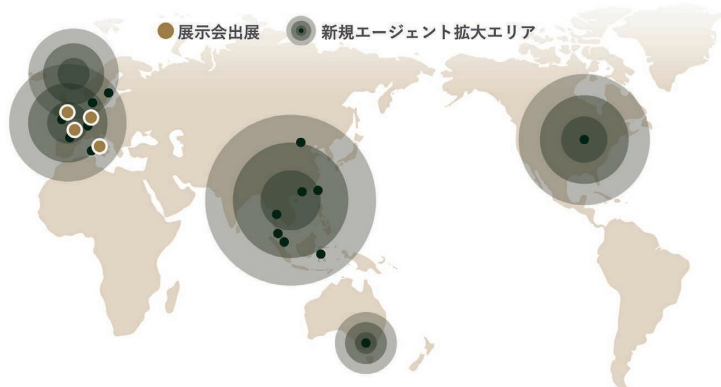
2025年4月1日、リーガロイヤルホテル(大阪)はIHGのラグジュアリーブランドを冠した、「リーガロイヤルホテル大阪 ヴィネット コレクション」としてリニューアルオープンいたしました。オーナーのベントール・グリーンオークによる135億円の大型投資で生まれ変わり、今後も「リーガロイヤル」ブランドの旗艦ホテルとして、これからもブランド価値を牽引する存在であるとともに、国内外からますます多くのお客様をお迎えし、収益力・競争力向上にも寄与する存在となることを期待しています。



■施策2：海外向けセールス&マーケティングの強化

2024年12月、海外セールス・マーケティングの専門部署「インバウンド事業部」を立ち上げました。当部では外国人材を積極的に登用し、海外セールス力強化を進めています。

2025年度は、ロイヤルホテル単体としての重点攻略先としていた東アジアに引き続き注力しつつ、芝パークホテル(詳細後述)の紐帯が強い地域を中心とし、海外市場への足掛かりとするべく、欧州を中心に客層拡大を狙う予定です。特に、旅行業関係者の集客が多い合同商談会イベントに参加し、「リーガロイヤル」ブランドの認知拡大を狙ってまいります。

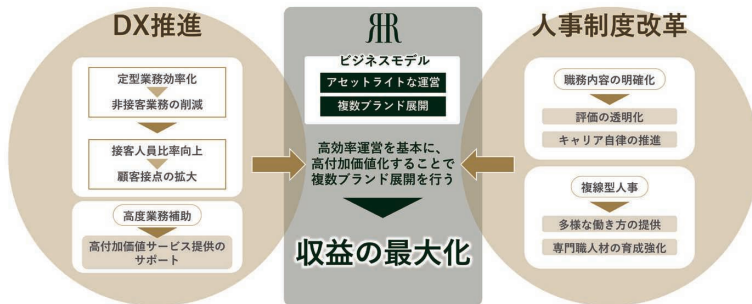


■ 中期経営計画 ■

■施策3：人事制度改革とDX推進を両輪とした、既存ホテルの収益力強化

既存ホテルの利益率改善、コスト削減を期した業務構造の改革として、人事制度改革及びDXの推進を行っています。

新人事制度の導入は2026年度を予定していますが、新制度では新たに職務給を導入するため、2024年度は、その基盤となる「職務内容の明確化」を完了させ、ホテルオペレーションに係るあらゆる業務を記述・明文化しました。これらの業務内容を「定型業務」と「高度業務」に峻別し、定型業務と高度業務の補助についてはDX化を推進して効率化を図り、高度業務への人的資源の集中を図ります。また、コース別人事により、高度専門職として「プロフェッショナル職」を創設する等、ホテル業の中核技術伝承・研鑽を推進し、ブランド価値向上に寄与する制度を整備しています。



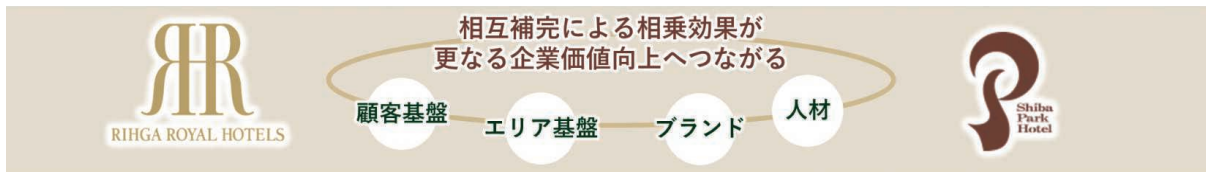
戦略3：インオーガニックな成長も視野に入れた 新規出店パイプラインの拡大

＜芝パークホテルとの資本業務提携＞

2024年11月、当社と株式会社芝パークホテルとの間で資本業務提携を締結し、同時に株式を追加取得し子会社化いたしました。芝パークホテルは、1948年、現在の経済産業省、当時の貿易庁の管理のもと、外国貿易使節団ホテルとして創業し、東京で、芝パークホテルとパークホテル東京の2ホテルを運営しています。



＜資本業務提携の効果＞



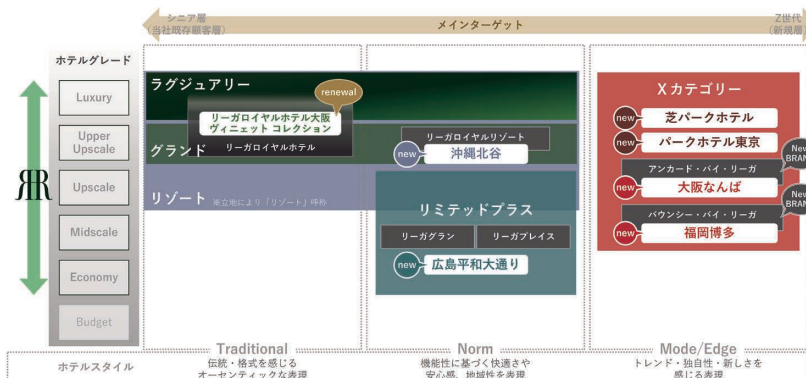
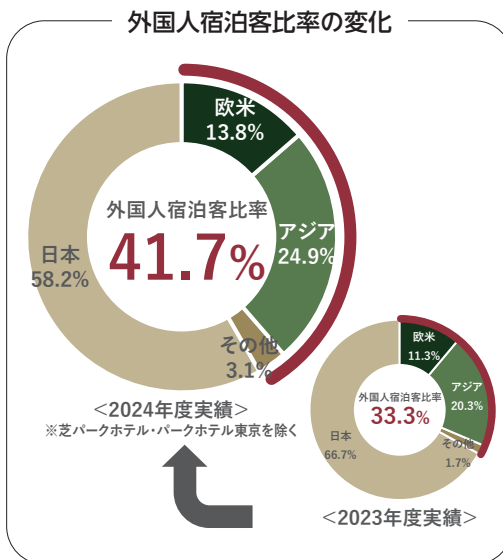
芝パークホテルは、創業以来、イギリスやアメリカといった英語圏の現地エージェントと強固な信頼関係を築いており、外国人宿泊客の比率が非常に高い点が特徴です。

本提携における当社にとってのメリットは、欧米を中心としたインバウンド個人客需要の取り込みと、東日本の拠点充実によるグループ力の強化です。特にインバウンド需要の取り込みについては、新設のインバウンド事業部の項でも記述したとおり、シナジー創出のための施策を実行中です。

右図のとおり、足許でも既に提携効果として外国人比率が向上するとともにその構成比にも変化が見られ、今後も引き続き顧客、エリア、ブランド、人材の相互補完による相乗効果を、更なる企業価値の向上に繋げていきます。

(ご参考) ブランドカテゴリー別ホテル展開

新ブランドを追加した、現時点でのブランドカテゴリーを整理しました。今後の展開にご期待ください。



安全・安心で持続可能な社会の実現に向けて



私たちは「持続可能な社会」を実現するために、SDGs(持続可能な開発目標)を重視しながら課題に取り組み、社会的責任を果たしてまいります。

環境

「食の多様性」への対応を推進しています

●ヴィーガンコースの提供 ●朝食ピクトグラム表示対応ホテルの拡大

様々な国籍のお客様が増えるなか、多様な食文化・食生活に寄り添うため、ヴィーガン(完全菜食主義)に対応したコース料理の販売を開始しました。ヴィーガンの方だけでなく、健康志向の高い方や新たな食体験を求めるすべての方にお楽しみいただける内容となっています。

また安心してお食事をお楽しみいただけるよう朝食ビュッフェでの食材ピクトグラム表示を5ホテル※に拡大しました。

※リーガロイヤルホテル大阪、京都、広島、小倉、リーガグラン京都



社会

ペットボトルキャップ回収活動を拡大しました

リーガロイヤルホテル広島では、お客様にもご協力いただき、ペットボトルキャップの回収運動を行っています。集まったペットボトルキャップはリサイクル資源となり、その代金で開発途上国の子どもたちにワクチンを届けています。



社会

能登半島豪雨被害への支援

2024年9月に発生した能登半島豪雨への支援のため、グルメブティック メリッサ オンラインショップで「天然輪島産ふぐのタパス」を販売し、商品売上の一部を寄付しました。



社会

リーガチャリティウォークを開催しました

創業90周年を機に、歩数に応じて、様々な社会課題解決に取り組むNPO団体等に寄付をするチャリティウォークを、従業員向けに実施しました。オンライン／オフラインで開催し従業員の健康と社会貢献への意識を高めました。



社会

手話研修を開始しました

バリアフリーの一環として、基礎的な手話を身に付け多様なお客様をおもてなしできるよう「手話研修」を開始しました。

社会

日本語研修を開始しました

海外からのお客様が増加するなか、従業員も多国籍化が進んでいます。外国籍の従業員を対象に、日本文化への親しみをもち、実践的な日本語の習得を目指した研修を開始しました。

認定

健康経営優良法人2025

健康経営に関する取り組みが評価され、当社および子会社6社が「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」の認定を受けました。

認定は5年連続となります。



リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツト コレクション

2025年4月1日 グランドオープン

IHGホテルズ&リゾーツのコレクションブランドの一つである「ヴィニエツト コレクション」の一員として装いを新たにグランドオープン。1年以上に及ぶ大規模リニューアルを経て客室をはじめ、メインロビーやレセプション、そしてオールデイダイニング リモネなどが新しく生まれ変わりました。また4月には、世界的デザイナー コシノジュンコ氏による新たな宿泊部門の制服をお披露目。「伝統と革新の融合」をコンセプトに、信頼と安心に繋がるフォーマル性があり、歴史と伝統を感じるデザインに一新。ホテルの新たなスタートを象徴するとともに、より魅力を向上させた強みを活かし、これまで以上に高品質なサービスとおもてなしを提供します。

リニューアル
2025.4



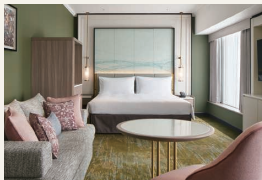
コシノジュンコ氏が手がけた新しい制服(レセプションスタッフ)



メインロビーの床一面に敷かれた日本最大級の大織通「万葉の錦」と鳥模様金時絵が施された柱



卓越した技術で作られた西陣織の屏風が特長のレセプションでお客様をお迎え



「伝統美と水の融合」をコンセプトに水に浮かぶ“中之島”をイメージし伝統と現代性を融合させた客室



大きな窓から差し込む自然光と開放的な空間が特長のオールデイダイニング リモネでは食事とともに心安らぐ時間をご提供



オールデイダイニング リモネでは“世界中の小さな物語”をテーマに世界各地の料理による食体験をお届け

リーガロイヤルホテルグループ

半世紀にわたり愛される味 冷凍「シーフードピラフ」を販売

オンラインショップ
2024.10~

1977年、ロイヤルホテルの当時のレストランシェフにより考案され、「このピラフを味わいたくてホテルに泊まる」お客様もいるほど、絶大な人気を誇り、今もなお愛され続けている「海の幸のピラフ」。半世紀にわたり継承されてきた伝統のレシピをもとに、バターライスには海鮮などの具材のほか、隠し味に味噌、醤油などの和の調味料を加え、コクがありうまみ溢れる上品な味わいに仕上げました。当社自慢の「シーフードピラフ」を、ご自宅でもぜひお楽しみください。



リーガメンバーズに 東京エリア2ホテルが仲間入り

オフィシャルアプリ
2025.4

グループ全15ホテルの宿泊やレストランなどの利用でポイントが貯まり、利用すればするほどお得なリーガメンバーズの対象に、芝パークホテルとパークホテル東京が追加。また会員数は46万人を突破しました。(2025年3月時点)
今後もクーポンやキャンペーン情報の配信など、お客様のホテルライフを充実させる様々な情報を提供してまいります。

※ホテルにより特典・サービスが異なります。



パークホテル東京(港区・汐留)

リーガロイヤルホテル東京

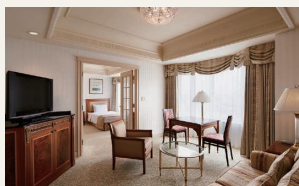
エグゼクティブフロア全室に パナソニックドライヤー「nanocare ULTIMATE」導入

宿泊
2025.4~

2025年4月よりエグゼクティブフロア全36室に、ヘアドライヤー「nanocare ULTIMATE」EH-NC80を導入。パナソニック製品の中でも、うるおいと速乾をかなえるドライヤーとして好評を得ている「ナノケア」シリーズ。今回導入したエグゼクティブフロアは“上質のおもてなしはそのままに、それ以上のもの”をコンセプトに、きめ細やかなホスピタリティあふれるサービスをご提供。今後もお客様のホテルステイがより良いものとなるよう、快適にお過ごしいただける空間をお届けしてまいります。



「nanocare ULTIMATE」EH-NC80



エグゼクティブフロア 客室イメージ

リーガロイヤルホテル広島

劇団四季ミュージカル 「キャッツ」とのコラボカクテルを販売

バー
2024.12

1983年11月11日の日本初演以来、多くの人々を魅了し続けている劇団四季ミュージカル「キャッツ」。その12年ぶりとなる広島公演を記念し、コラボレーション商品として最上階33階の「スカイダイニングリーガトップ」にて3種類のカクテルを販売しました。また、1階ロビーでは、衣装と小道具を展示し、劇場外で「キャッツ」の世界観に触れることができる特別な時間をお届けしました。



コラボカクテル(左から)「Cat's Eye」
「Mysterious Rouge」「Pretty Cats」

リーガロイヤルホテル京都

副総料理長 中田 宏 「黄綬褒章受章」記念メニューが登場

レストラン
2025.1

副総料理長の中田 宏が令和6年秋の「黄綬褒章」を受章したことを記念し、特別メニューを懐石フランス料理「グルマン橘」で販売。フランス・ブルゴーニュ地方のミシュラン三ツ星レストラン「ジオルジュ・ブラン」での研修など、豊富な経験により培われた中田の繊細かつ卓越した技術が光る正統派フレンチコースが、7日間限定で登場しました。



(左)「トマトコンフィ カリフラフームスとオマール海老のサラダ」
(右)「フォウグラボールソースベリグー」



リーガロイヤルホテル小倉

食で味わう山口の恵み 「おいでませ！山口県産フェア」開催

レストラン
2025.1

豊かな自然環境と多様な地形に富む山口県。いにしえより美食の文化が栄えた地域としても知られています。北九州に隣接するこの地域の新たな味覚をお愉しみいただくため、各レストランのシェフ・料理長が趣向を凝らして、山口県産の食材を用いた特別なメニューをあつらえました。フェア開催のため、シェフ・料理長が自ら生産地に足を運んで食材を吟味。生産者のこだわりや思い、食材の魅力を身近に感じていただけるよう、最適な料理スタイルで提供しました。



(右)やまぐち和牛燐(きらめき)フィレのグリエ
岩国レンコンとトリュフのバルマンティエ シェリーピネグーソース



2025年1月16日に、創業90周年を迎えました

創業90周年を迎えた本年、リーガロイヤルホテル大阪を中心にホテルグループ全体で記念キャンペーンや記念商品を展開！

リーガロイヤルホテル大阪 ヴィニエツト コレクション

レストラン・バーで「感謝フェア」を開催

長年のご愛顧に感謝の気持ちを込めて、直営レストラン・バー10店舗で、特別メニューや商品を提供する「感謝フェア」を実施。当ホテルグループ最上級のフレンチレストラン「レストラン シャンボール」は、半世紀以上にわたりお客様とともに歴史を刻み続けているグランメゾンとして、代々継承する伝統と格式が織りなすディナーフルコースをご用意。また、伝統と技術に新たなエッセンスを加えた食体験が堪能できる「THE RAY」では、当ホテル初となるヴィーガンコースの販売を開始しました。旬の食材とシェフの感性が織り成す彩り豊かで美しい料理は、五感で味わう特別な時間をお届けします。



「レストラン シャンボール」ディナーフルコースの一品

リーガロイヤルホテルグループ

ロビーパネル展を実施しています

グループ9ホテルのロビーなどで、周年記念パネル展を実施中です。これまでの歩みを振り返りながら、食、国際会議などの歴史とこれからの展望を紹介しています。

「思い出のエピソード募集キャンペーン」を実施

90年にわたり、お客様がリーガロイヤルホテルグループを舞台にどのような時間を過ごし、どのような印象深い思い出をお持ちなのかをお聞かせいただきたいとの思いから、本キャンペーンを実施。皆さまよりお寄せいただいた300件を超えるエピソードの一部を、今後ウェブサイトや公式SNSでご紹介してまいります。

「株主様への謝恩キャンペーン」実施のお知らせ

株主様からの日頃のご支援に感謝の気持ちを込め、謝恩キャンペーンを実施します。リーガメンバーズ アプリにご登録いただいている株主様を対象に、ご応募いただいた方の中から抽選で計90名様に、リーガメンバーズ ポイントを贈呈します。応募方法などの詳細については、2025年12月発送予定の第100期中間報告書にご案内を同封いたしますので、奮ってご応募ください。

- ◆対象：2025年9月末時点の株主様
- ◆賞品：【A賞】ポイント10万円分(5名様)
【B賞】ポイント5万円分(10名様)
【C賞】ポイント5千円分(75名様)

※本キャンペーンへの応募にあたっては、「リーガメンバーズ」の会員登録が必要です。
※内容は変更になる場合があります。



パネルイメージ(リーガロイヤルホテル大阪)



思い出のエピソード募集キャンペーン

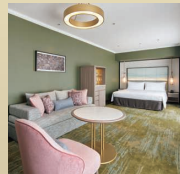
株主優待制度のご案内



ご飲食優待券
飲食料金

20%OFF

本券1枚につきホテル直営レストラン・バー1回のご利用とさせていただきます。1回のご利用対象金額は15万円(税金・サービス料別) <割引額3万円(税金・サービス料別)>を限度とさせていただきます。



ご宿泊優待券
シンプルステイプラン
(素泊り・変動料金)

15%OFF

本券1枚につき、1泊1室に限りご予約時のシンプルステイプランの料金から割引いたします。ご予約の際は下記URLよりアクセスいただき、株主優待専用プランをご利用ください。
<https://www.rihga.co.jp/stock-benefit-stay>

ご優待基準

毎年3月末・9月末現在の株主様にご所有株式数に応じてそれぞれ下記の枚数のご優待券を贈呈いたします。

ご所有株式	ご宿泊 優待券	ご飲食 優待券	ご婚礼 優待券
100株以上	10枚	6枚	2枚
200株以上	15枚	9枚	3枚
500株以上	15枚	9枚	3枚
1,000株以上	20枚	12枚	4枚
5,000株以上	25枚	15枚	5枚
10,000株以上	30枚	18枚	6枚



ご婚礼優待券
披露宴のお料理・お飲物料金

8%OFF

1件のご婚礼につき1枚のご利用とさせていただきます。お料理につきましては、ホテル直営の宴会料理、レストランウエディングの直営レストラン料理に限りです。本券のご利用はホテルに直接お申込をいただいた場合に限りです。

※他の割引制度・ホテル発行のホテル券及びパッケージ商品ならびに当社ウェブサイト以外の外部ウェブサイトで提供しているプラン等をご利用の場合には優待券はお使いいただけません。

リーガメンバーズポイントの進呈

毎年3月末時点で500株以上保有されている株主様に、リーガメンバーズポイントを進呈いたします。

		保有期間	
		3年未満	3年以上
保有 株式数	500株以上 1,000株未満	5,000ポイント	7,000ポイント
	1,000株以上	10,000ポイント	12,000ポイント

※ポイントの進呈にあたっては、リーガメンバーズ会員にご登録いただく必要があります。詳細は、対象の株主様にお送りしている同封のご案内に記載しており、所定のお手続きをいただいた株主様を対象にポイントを付与いたします。
[ポイント有効期間 9月1日～翌年8月31日]

優待券の送付時期・有効期間

3月末現在の株主様

送付時期
6月下旬

有効期間 ご送付後
12月31日まで

9月末現在の株主様

送付時期
12月中旬

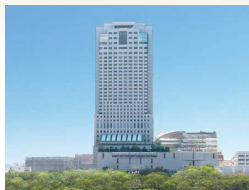
有効期間 ご送付後
翌年7月10日まで

ご参考



リーガロイヤルホテル グループ&アソシエイト ホテルズ

●印のホテルで株主優待券が
ご利用いただけます。



リーガロイヤルホテル広島
[広島・基町] ●
TEL(082)502-1121



**リーガロイヤルホテル大阪
ヴィニエツト コレクション**
[大阪・中之島] ●
TEL(06)6448-1121



リーガロイヤルホテル京都
[京都・京都駅西側] ●
TEL(075)341-1121



リーガブレイス肥後橋
[大阪・肥後橋]
TEL(06)6447-1122

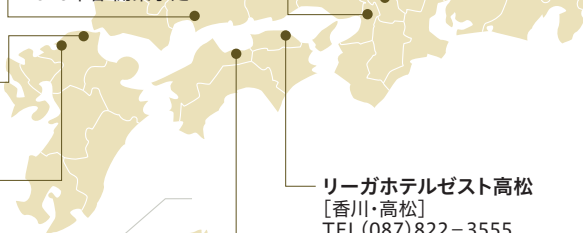
**アンカード・バイ・リーガ
大阪なんば**
[大阪・難波]
2026年春 開業予定



リーガロイヤルホテル東京
[東京・早稲田] ●
TEL(03)5285-1121

リーガロイヤルホテル小倉
[福岡・小倉駅前] ●
TEL(093)531-1121

**バウンシー・バイ・リーガ
福岡博多**
[福岡・祇園]
2026年秋 開業予定



リーガホテルゼスト高松
[香川・高松]
TEL(087)822-3555

都市センターホテル
[東京・千代田区]
TEL(03)3265-8211

芝パークホテル
[東京・港区]
TEL(03)3433-4141

パークホテル東京
[東京・港区]
TEL(03)6252-1111



リーガロイヤルグラン沖縄
[沖縄・那覇] ●
TEL(098)867-3331



**リーガロイヤルホテル
新居浜**
[愛媛・新居浜] ●
TEL(0897)37-1121

**リーガロイヤル
ラグーナ・グアム・リゾート**
[米国・グアム]
TEL 1-671-646-2222



リーガグラン京都
[京都・京都駅南側] ●
TEL(075)662-1121

リーガロイヤルリゾート沖縄 北谷
[沖縄・北谷] 2026年春 開業予定

リーガブレイス京都 四条烏丸
[京都・四条烏丸]
TEL(075)342-1121

宿泊予約専用フリーダイヤル:0120-116180
月～金/9:00～18:00 土・日・祝日/10:00～16:00

【株式に関するお手続きについて】

株式に関するお手続きは、ご所有の株式が、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、各窓口にご照会ください。

証券会社の口座に記録された株式		
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
・単元未満株式の買取・買増請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている証券会社	
・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座に記録された株式		
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
・単元未満株式の買取・買増請求 ・特別口座から証券口座への振替請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
・郵送物の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月開催

基準日

定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、予め公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

☎0120-782-031
 受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く)

インターネットホームページURL

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告の方法

電子公告により公告します。< <http://www.rihga.co.jp> >但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告することとします。

上場金融商品取引所

東京証券取引所(スタンダード市場)

〈MEMO〉

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

〈MEMO〉

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

